

LQ119

QQ-Cam

取扱説明書・工事説明書



株式会社レッツコーポレーション

このたびは、LQ119(以下、本装置)をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本装置は、FOMA 通信カードを装着して、相手先の FOMA 対応携帯電話と TV 電話通信を行い、4 系統あるビデオ・音声入力信号を任意に切り替えて外部からの遠隔監視を行うためのアダプターです。この説明書に記載されている内容をご理解の上、本装置を正しく運用いただきますようお願い申し上げます。この説明書は保証書、付属品と共に大切に保管してください。

本製品に FOMA 通信カードは付属しません。 別途、ご契約願います。

ご使用上の注意

- 本装置及び付属品の使用により生じた金銭上の障害逸失利益又は第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本装置及び付属品は、改良の為予告なしに変更することがあります。
- 本装置の故障、誤動作、不具合あるいは災害・事故等の外部要因によって、通話の機会を逸したため生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 人身及び物損事故につきましては、本装置の使用、不使用を問わず、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意：本書の内容については、改良のため将来予告なしに変更することがあります。

- 目次 -

1	本装置を使用するための準備	1
1.1	必ずお読みください	1
1.2	機器設置の前に	5
1.3	商品構成	6
2	各部の名称	7
2.1	上面	7
2.2	左側面	8
2.3	上側面	8
2.4	下側面	8
3	FOMA 通信カードの取り付け	9
4	時計用電池の取り付け・交換	12
5	センサー入力信号の接続	13
6	センサー出力信号の接続	14
7	AV ケーブルの接続	15
8	カメラ制御ケーブルの接続	16
9	AC アダプターの接続	17
10	壁掛設置について	18
11	起動画面	19
12	状態画面	20
13	状態 LED	22
14	メニュー画面	23
14.1	発信先設定	24
14.2	通話時間設定	26
14.3	カメラ原点設定	27
14.4	カメラ反転設定	30
14.5	通報パターン設定	31
14.6	着信セキュリティ設定	32
14.7	パスワード設定	33
14.8	通話-センサー連動設定	34
14.9	FOMA カードタイプ設定	35
14.10	時刻設定	36
14.11	設定初期化	37
14.12	通話強制中断	38
14.13	I/O チェック	39
14.14	AV モジュール設定	40
15	ダイヤル画面	41

16	運用方法	42
16.1	運用開始までの流れ	42
16.2	発信のための準備	43
16.3	着信のための準備	43
17	携帯電話からの操作方法	44
17.1	事前準備	44
17.2	基本操作	44
17.3	携帯電話のボタン対応機能（パスワード入力時）	45
17.4	携帯電話のボタン対応機能（カメラ操作時）	46
17.5	携帯電話のボタン対応機能（センサー出力操作時）	47
17.6	携帯電話からの TV 電話発信による監視	48
17.7	携帯電話への TV 電話着信による監視	48
18	故障と考えられる時	49
19	仕様一覧	51

製品保証書

お問合せ先

1 本装置を使用するための準備

1.1 必ずお読みください

本書は、本装置の取り扱い方法および各機能の操作方法について説明しています。

●安全に正しくお使いいただくために

本書および製品の表示では、製品を安全にお使いいただき、ご使用になる方や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次の用になっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できない、または、機能停止をまねく内容を示しています。

絵表示の例

●記号は禁止の行為であることを示しています。

図の中に具体的な禁止内容（左図は湿度の高い場所への設置禁止）を示しています。



●記号は禁止の行為であることを示しています。

図の中に具体的な禁止内容（左図は火気のそばへの設置禁止）を示しています。



●記号は禁止の行為であることを示しています。

図の中に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



●記号は禁止の行為であることを示しています。

図の中に具体的な禁止内容（左図は不安定な場所への設置禁止）を示しています。



注意事項

■設置場所について



警告

●湿度の高い場所への設置禁止

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



注意

●火気のそばへの設置禁止

本気や電源ケーブルを熱器具等の発熱する物に近づけないでください。
カバーや電源ケーブルの被服が溶けて、火災・感電・故障の原因となることがあります。



●湿度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、湿度の高いところに置かないでください。
内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



●油飛びや湯気が当たるような場所への設置禁止

調理台のそば等油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電となることがあります。



●不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いたところ等、不安定な場所に置かないでください。
また、本装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



お願い

●本装置を正常にまた安全に使用していただくために、
次のようなところへの設置は避けてください。

- ・ほこりが多い場所
- ・極度に振動が激しい場所
- ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・強い磁界を発生する装置などが近くにある場所
- ・多湿の場所
- ・極度に高温になる場所
- ・極度に低温になる場所

■使用について

(1) もしもこんなときは



警告

●発煙への対処

万一、煙が出ている、異臭がする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本装置の AC アダプターをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

●水が装置内部に入った場合の対処

万一、内部に水が入った場合は、すぐに本装置の AC アダプターをコンセントから抜いて、ご購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●AC アダプターが傷んだ場合の対処

AC アダプターが傷んだ状態（芯線の露出・断線等）のまま使用すると、火災・感電となります。すぐに本装置の AC アダプターをコンセントから抜いてご購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



(2) 電源について



警告

●家庭用電源以外の禁止

AC100V 家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●AC アダプター

専用の AC アダプター以外は絶対に使用しないでください。

火災・感電・故障の原因となります。

●AC アダプターの取扱注意

AC アダプターを傷つけたり、分解したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると損傷し、火災・感電の原因となります。

●ぬれた手での操作禁止

ぬれた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

●たこあし配線の禁止

分岐ソケットを使用した、たこあし配線はしないでください。火災・感電の原因となります。



注 意

●ACアダプターの取扱注意

ACアダプターを抜くときは、必ずアダプター本体、DCプラグを持って抜いてください。コード部を引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



●乗ることの禁止

本装置に乗ったり、こしかけたり、すわったり、よりかかたりしないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれてけがの原因となることがあります。



(3) 禁止事項について

警 告

●改造の禁止

本装置を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



●ぬらすことの禁止

本装置に水が入ったり、ぬらさぬようにご注意ください。火災・感電の原因となります。



●異物を入れないための注意

本装置の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合は火災・感電の原因となります。



(4) その他のご注意

注 意

●雷のときの注意

雷が激しいときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。万一落雷があった場合、火災・感電の原因となることがあります。雷が発生した際は、感電のおそれがあるので、ACアダプターに触れないようにしてください。



●電源ケーブルの清掃

コンセントとソケットの間のほこりは定期的に（半年に1回程度）に取り除いてください。放置しておくと、火災・感電の原因となることがあります。

●長期間ご使用にならないときの注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。



1.2 機器設置の前に

本装置は FOMA 通信カードを 1 回線 (1 枚)、ビデオカメラ相当の装置を最大 4 系統接続し、FOMA 携帯電話網を使用して遠隔地の携帯電話に対し、TV 電話による通話を行い、本装置設置場所の遠隔監視を行うものです。

当該目的以外の使用はご遠慮ください。

- 次の FOMA 通信カードでの接続を確認しております。

- ・ P2403 (パナソニック製)
- ・ N2502 (NEC 製)

※すべての FOMA 通信カードに適合することを保障するものではありません。

- 本装置は NTT ドコモの FOMA 対応携帯電話に対し、TV 電話通信を行うものです。
- 本装置は TV 電話以外の通信には対応していません。
- 本装置に接続可能なカメラは以下の仕様を満たしているもののみです。
 - ・ Canon 製 「VC-C50iR」 (パン・チルト・ズームカメラ)
 - ・ レッツコーポレーション製 「LFE360」 シリーズ (360 度全周囲カメラ)
 - ・ NTSC 規格準拠のビデオ信号を出力するビデオカメラ相当の機器

※以降、本書内ではパン・チルト・ズームカメラを PTZ カメラと呼称します。
360 度全周囲カメラを 360 度カメラと呼称します。

1.3 商品構成

セット内容を確認してください。

ご使用いただく前に、次の物が全部そろっているか確認してください。

万一、欠品の場合は、お手数ですがお買い上げの販売店または、弊社までご連絡ください。

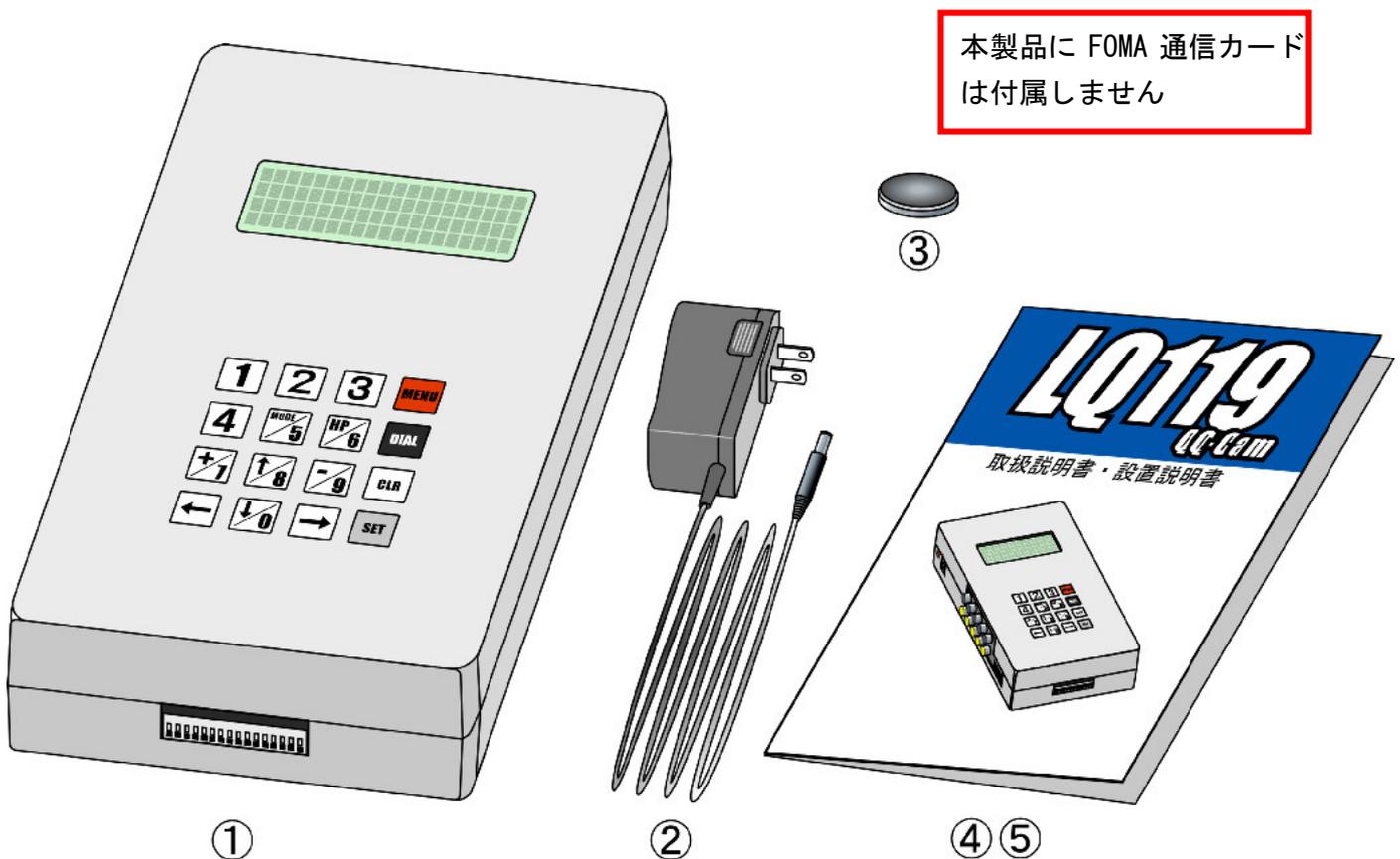
株式会社レッツコーポレーション

本社：〒460-0002 名古屋市中区丸の内 2-6-10 レッツ丸の内ビル

TEL (052) 201-6230

FAX (052) 201-5050

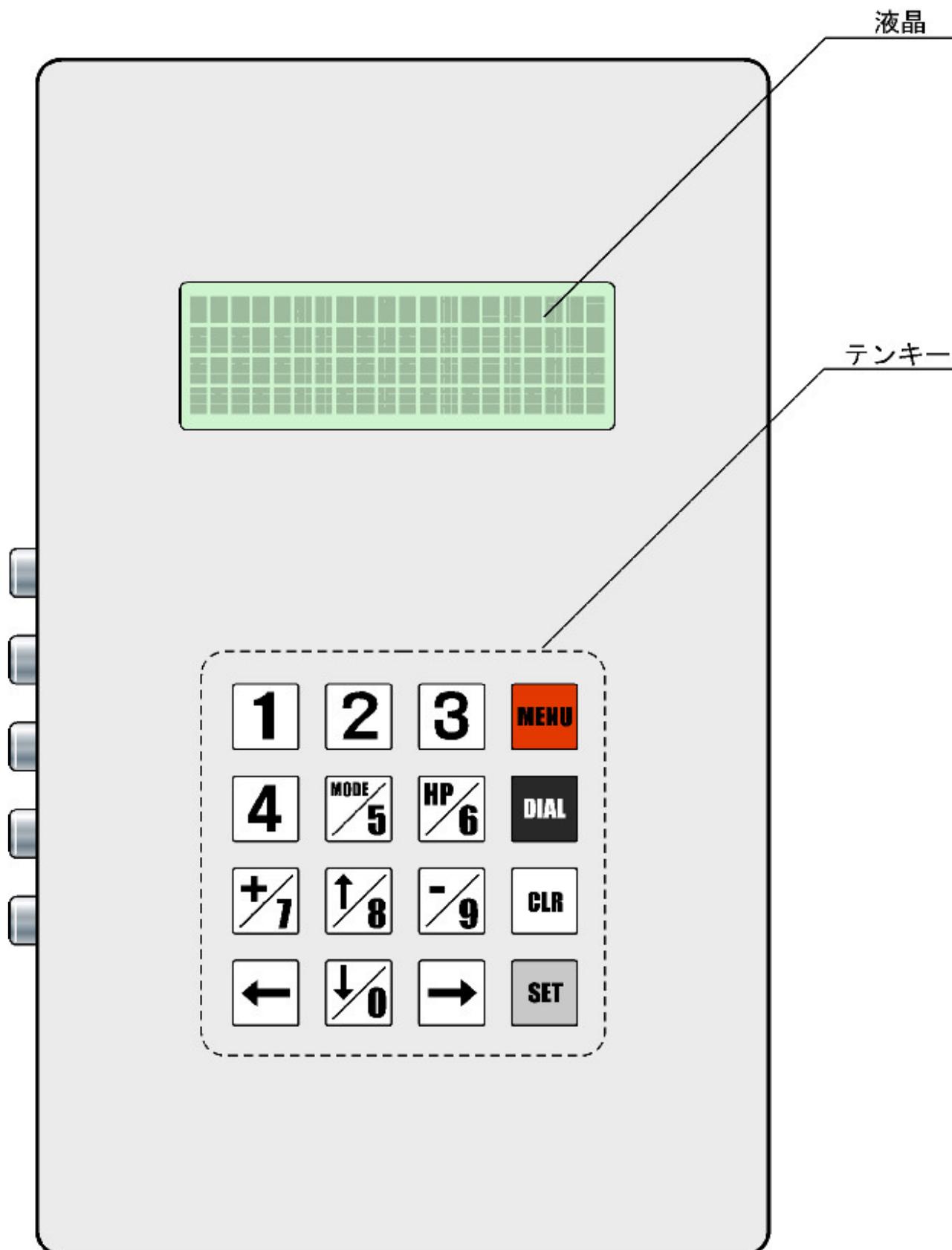
①	LQ119 本体	1 台
②	AC アダプター	1 個 AC100V 入力-DC5V 出力(2.0A)
③	本体時計用電池(CR2032) テスト用	1 個 (本体にセットされている場合もあります)
④	取扱説明書・工事説明書	1 部 (本書)
⑤	保証書 (取扱説明書・工事説明書巻末)	1 枚



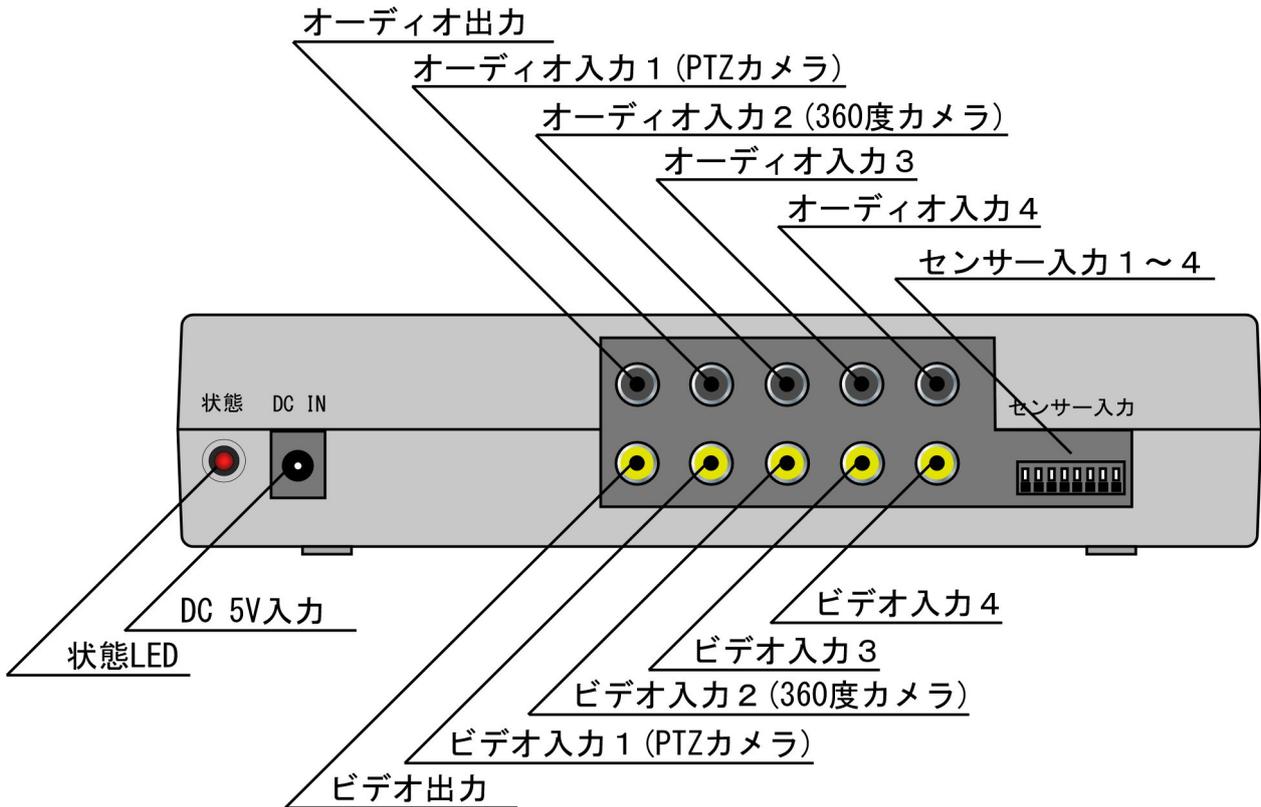
そのほか、オプション品をご購入された場合は、そのセット内容もご確認ください。

2 各部の名称

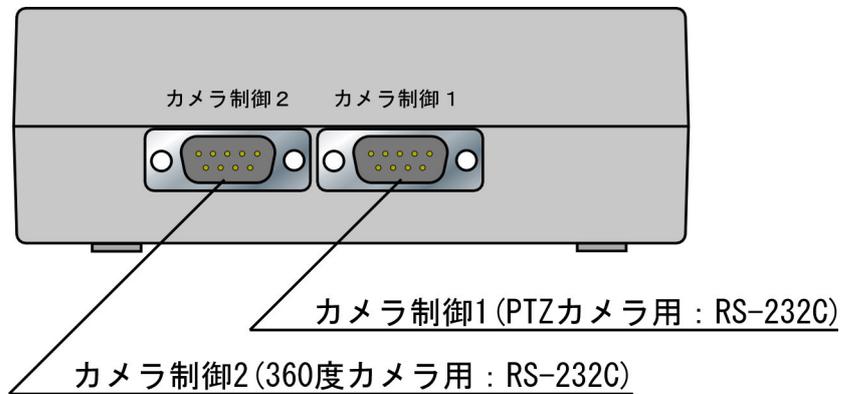
2.1 上面



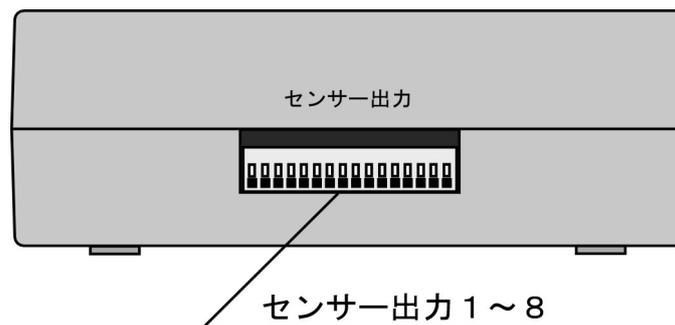
2.2 左側面



2.3 上側面



2.4 下側面

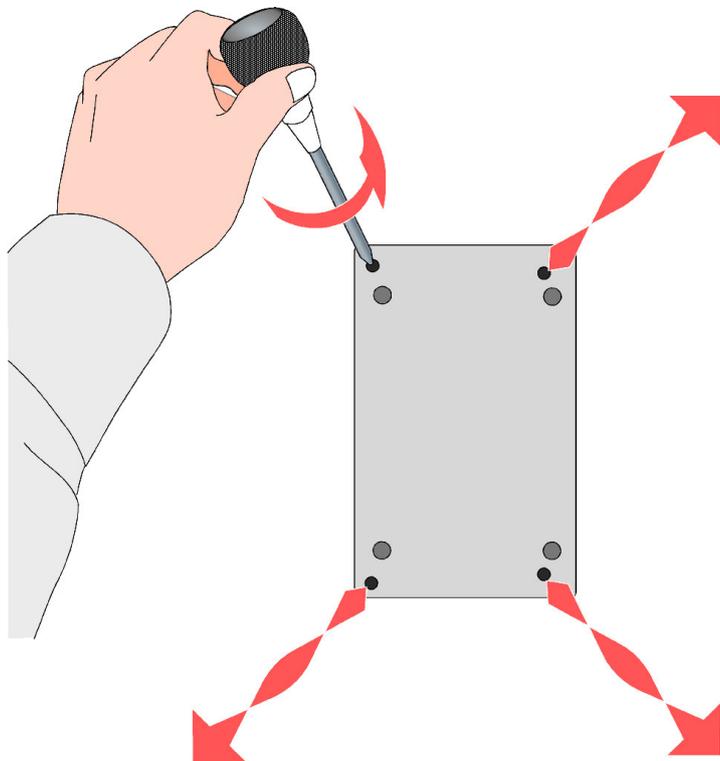


3 FOMA 通信カードの取り付け

※必ず、本装置の電源オフの状態で行ってください。

①本装置を裏返しにします。

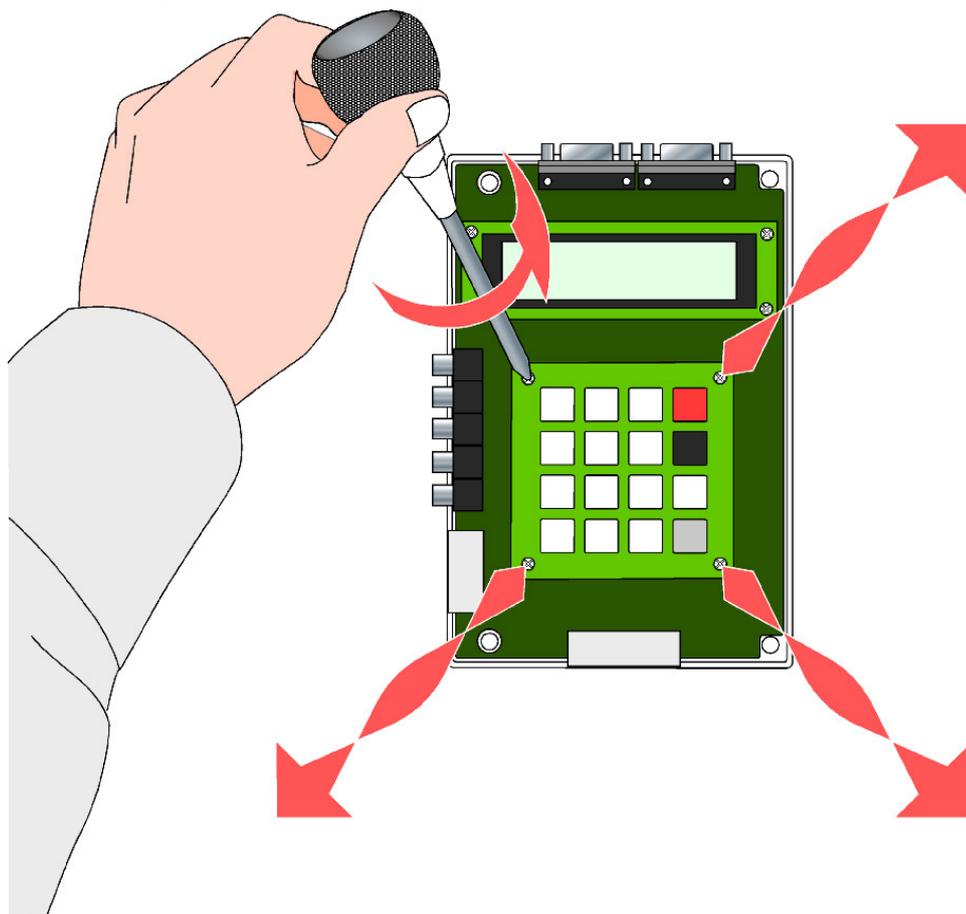
四隅にビスがあるので、4本ともはずします。



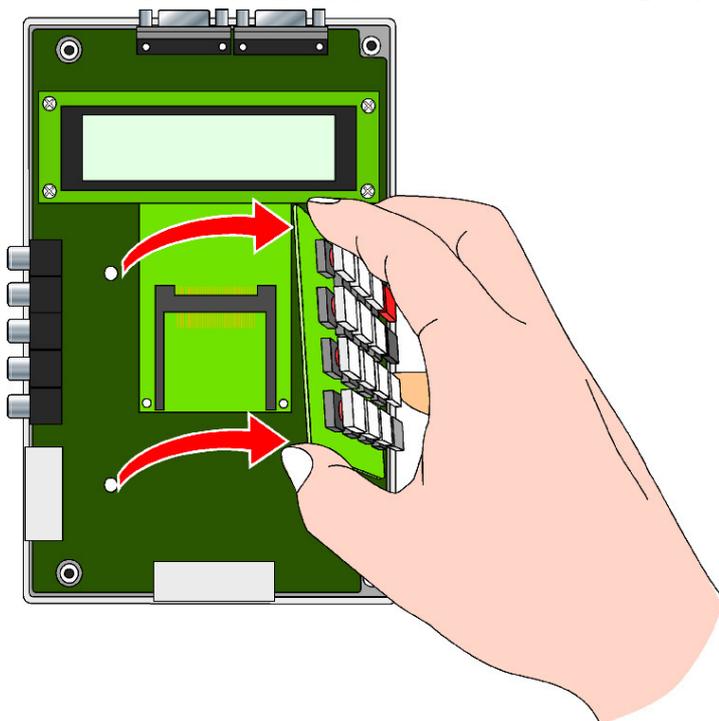
②本装置を表向きにして、上ケースをはずします。



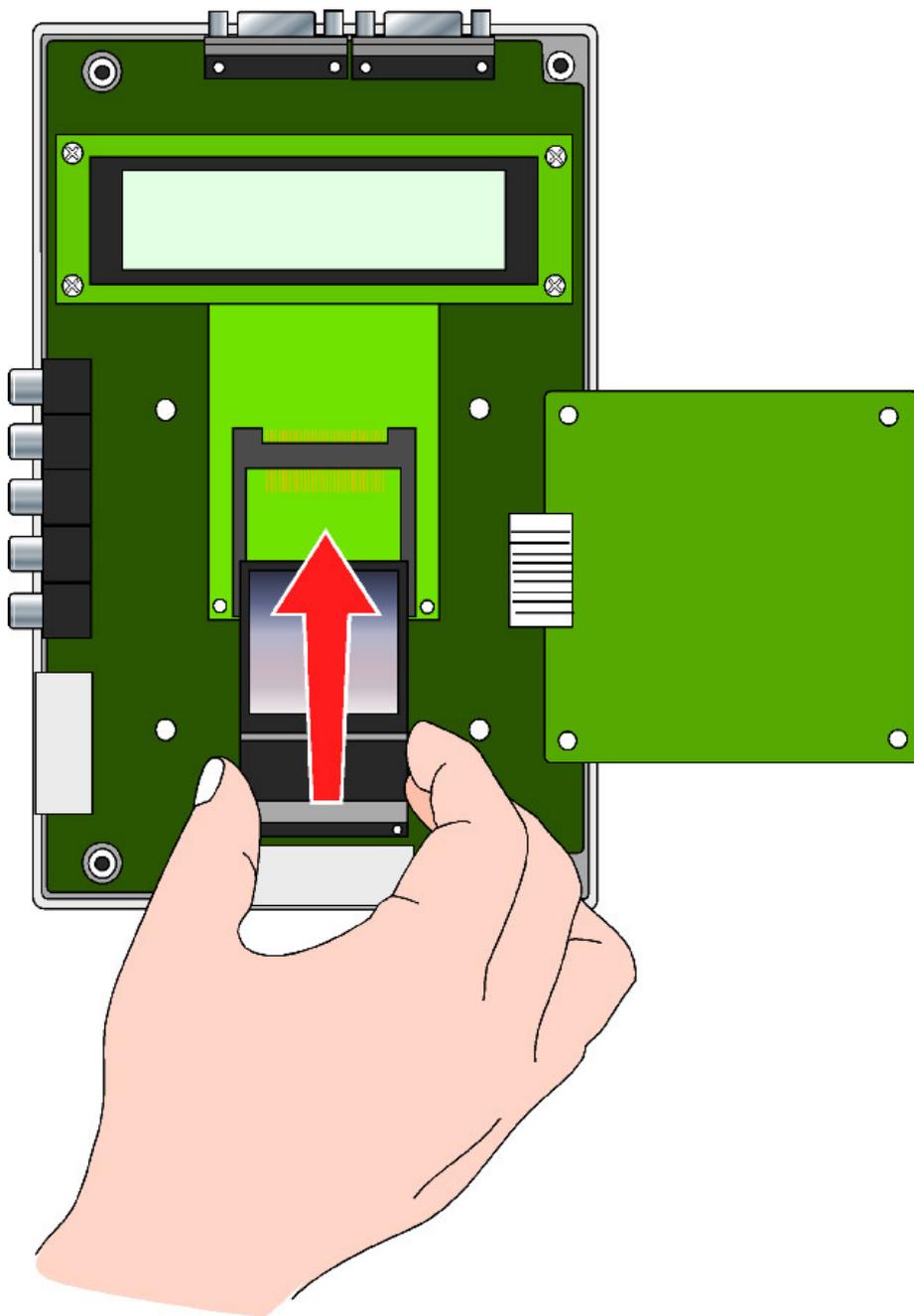
- ③テンキー基板の下に FOMA 通信カード用のスロットがあるので、テンキー基板をはずします。
基板の四隅を留めているネジをはずします。



- ④テンキー基板の右側を支点にして持ち上げます。
テンキー基板右側に接続されているケーブルを断線させないようにしてください。



⑤FOMA 通信カードスロットにカードを差し込みます。



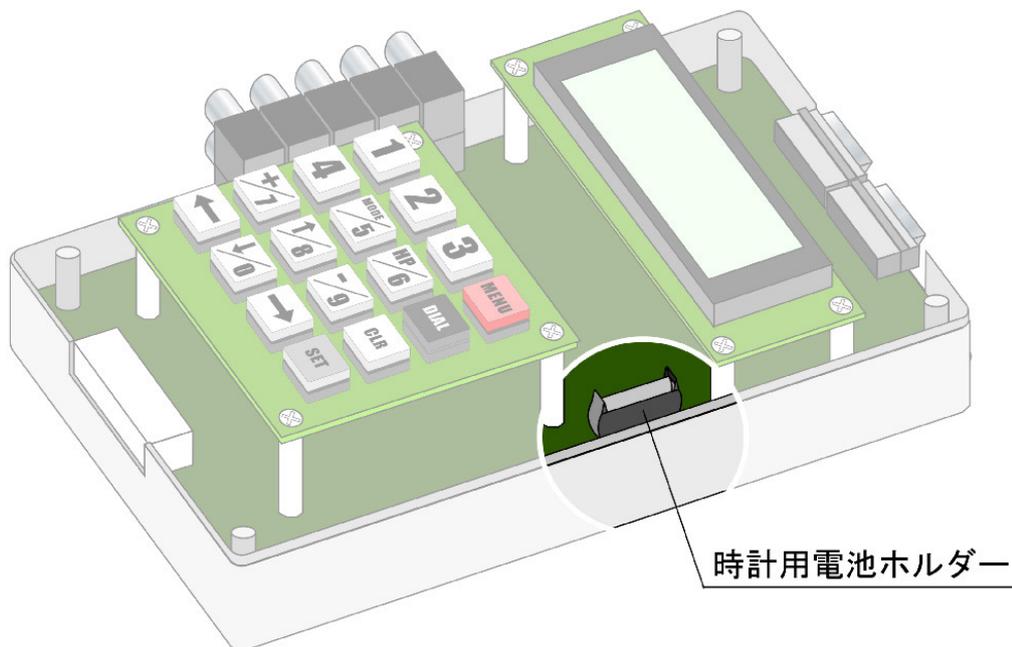
⑥FOMA 通信カードが正しく差し込まれていることを確認したら、テンキー基板、上ケースを元通りにネジ留めします。

ケーブル類の挟み込みが無いように注意してください。

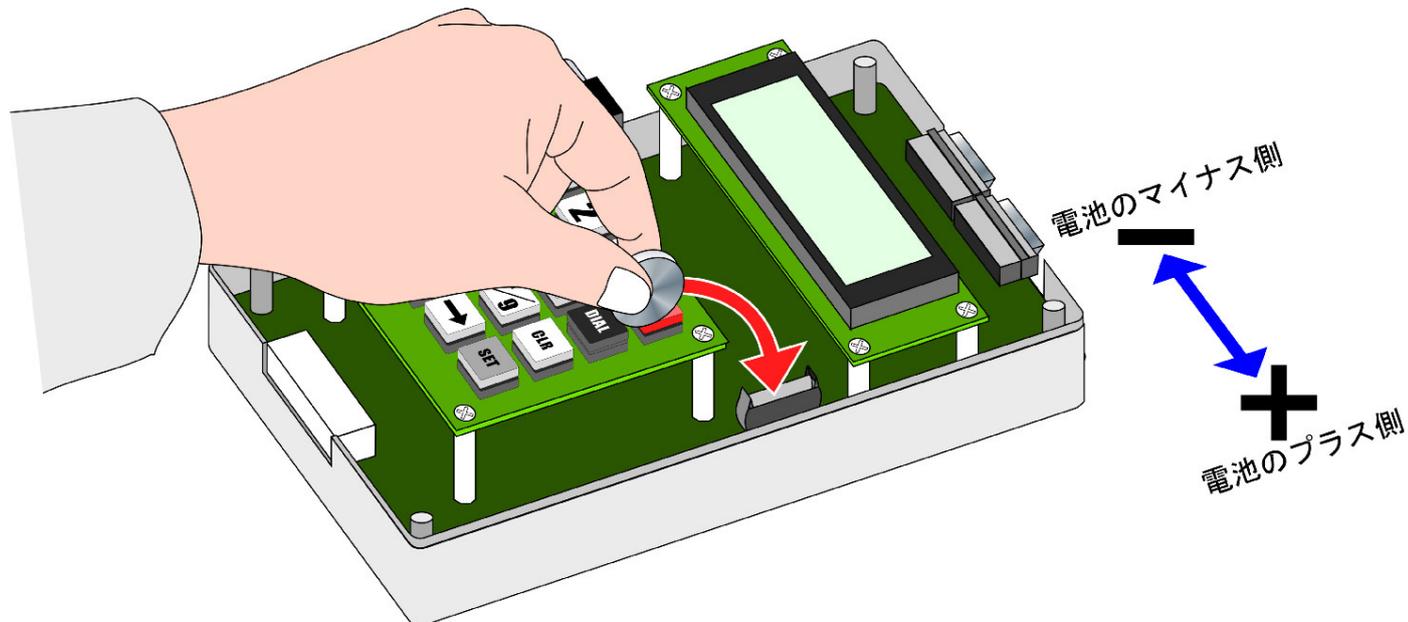
※時計用電池を取り付け・交換する場合は、次項の「時計用電池の取り付け・交換方法」を参照してください。

4 時計用電池の取り付け・交換

- ①FOMA 通信カード取り付け時と同様に、上ケースを外した状態にします。
時計用電池ホルダーはテンキー基板右側にあります。



- ②新しい電池 (CR2032) を、電池ホルダーに差し込みます。電池のプラス・マイナスの向きに気をつけてください。
古くなった電池を外す場合は電池の上端をつまんで、電池を上引き抜いてください。



- ③上ケースを元通りにネジ留めします

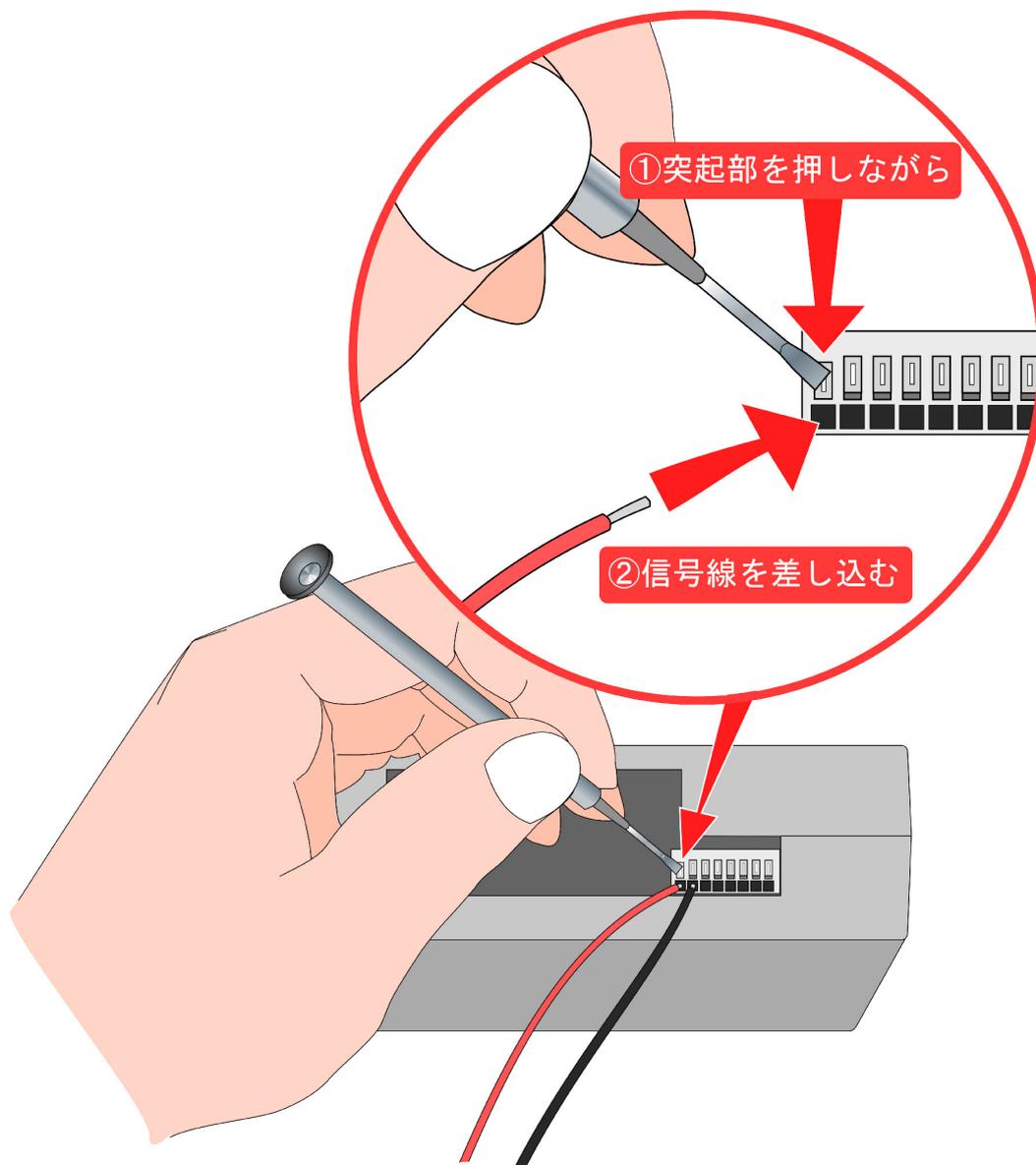
※本装置に同梱された電池はテスト用です。長期間使用できない場合がある点に留意してください。

5 センサー入力信号の接続

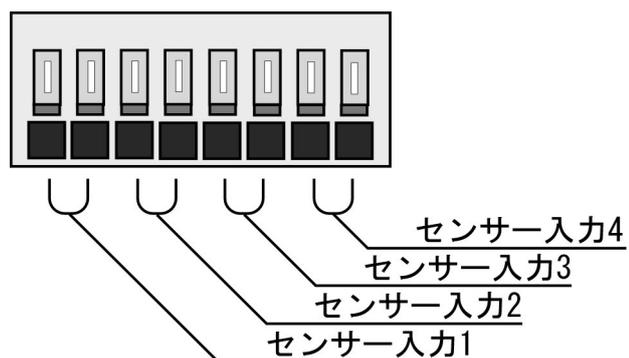
センサー入力は、TV 電話自動発信時の発報要因になります。

センサー入力信号は下図の要領で接続してください。

センサー入力信号端子は本装置左側面にあります。



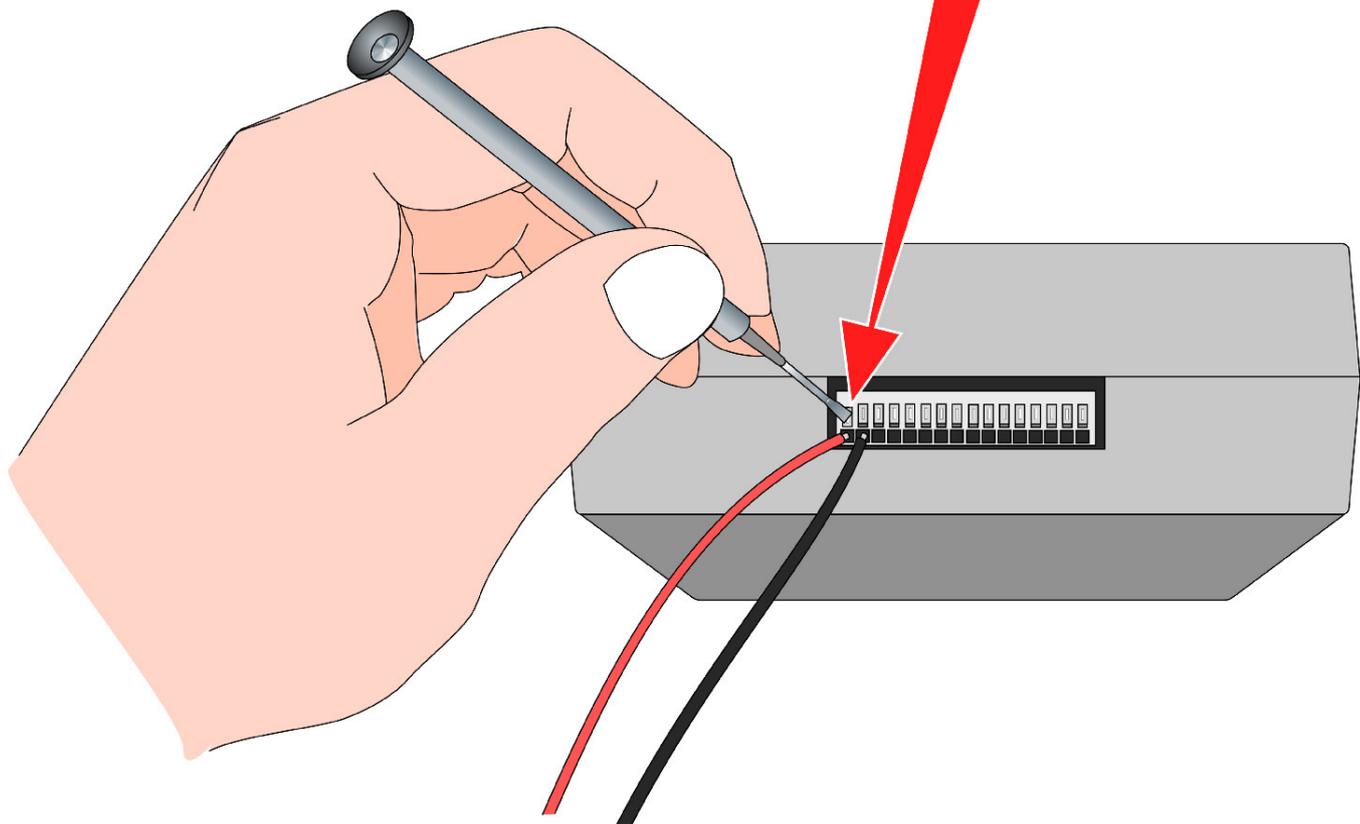
センサー入力は下図のような配置になっています。



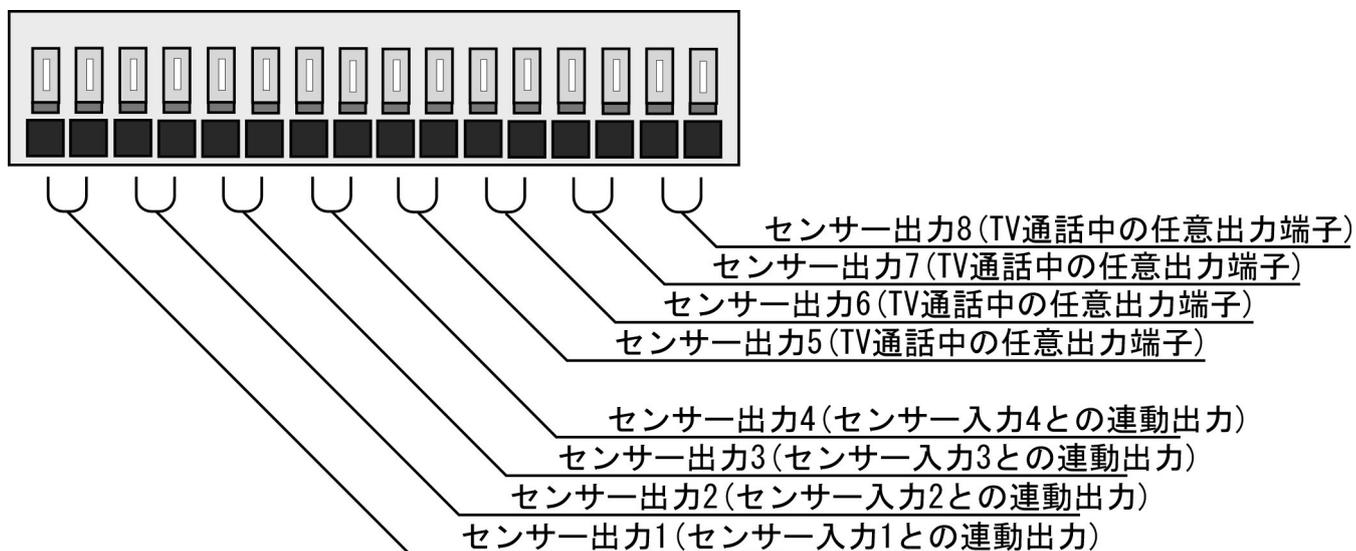
6 センサー出力信号の接続

センサー入力信号の接続と同様の方法です。
センサー出力端子は本装置下側面にあります。

接続口の突起部を精密ドライバーなどで押しながら
信号線を差し込みます。

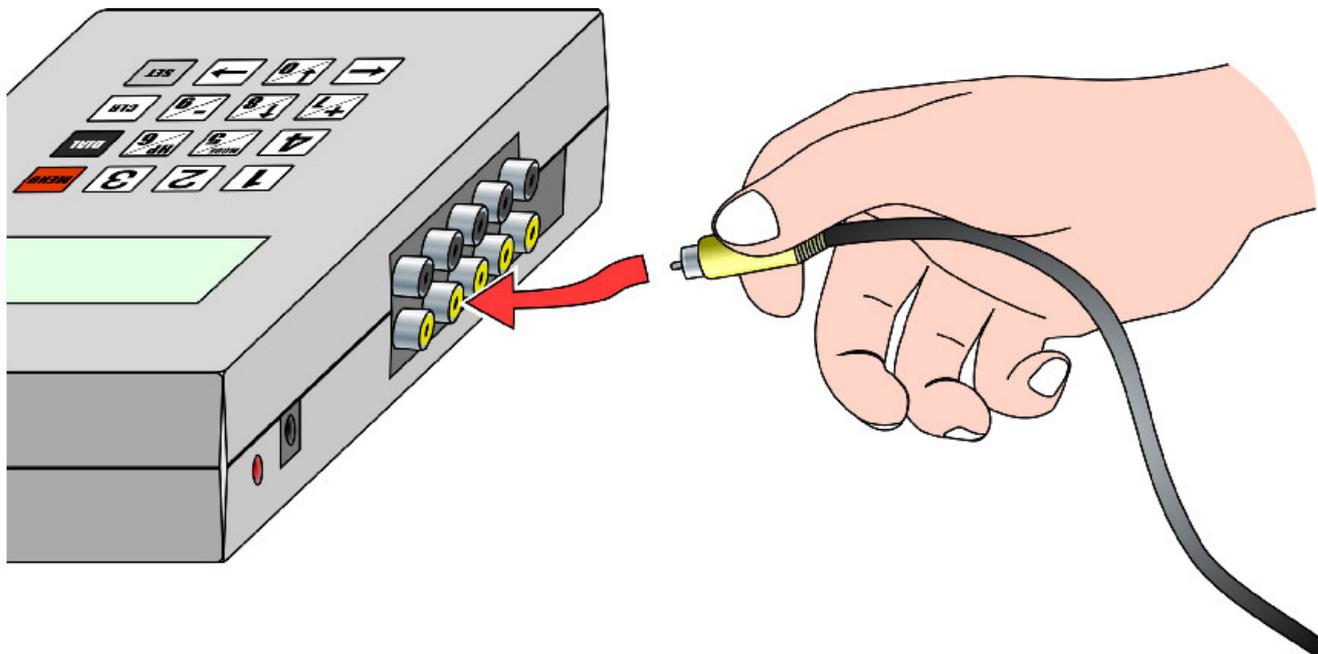


センサー出力は下図のような配置になっています。

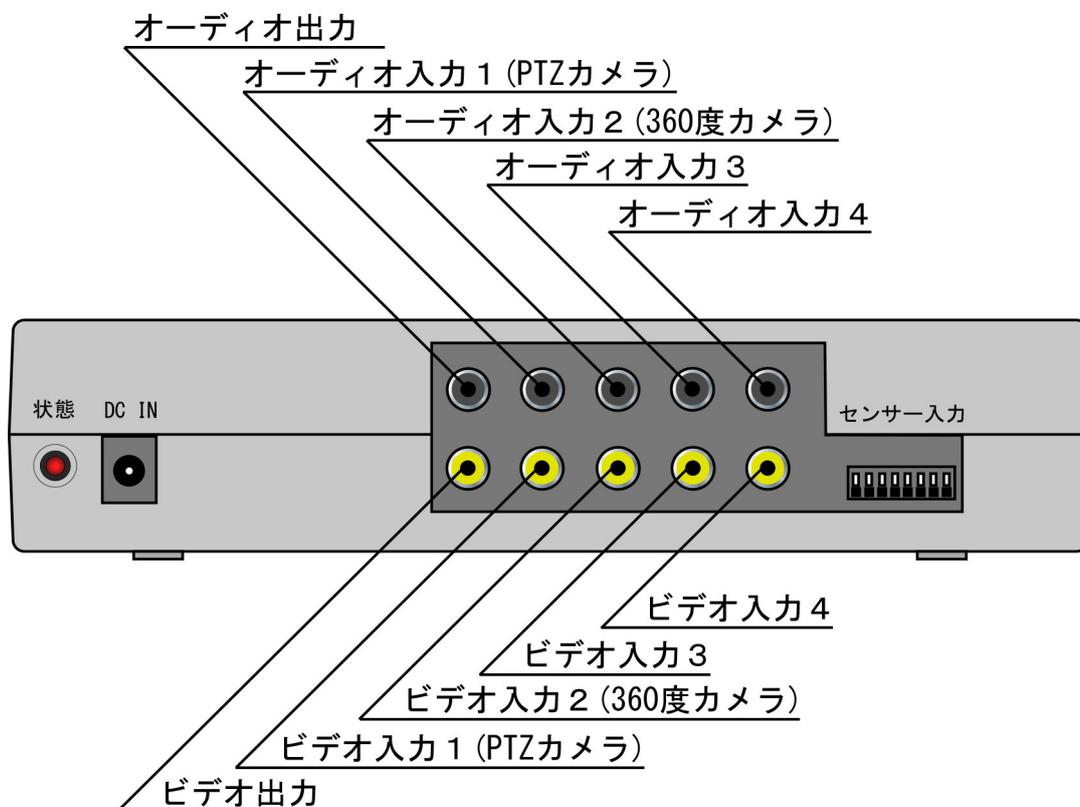


7 AV ケーブルの接続

オーディオとビデオの端子は本装置左側面にあります。



一番左側がオーディオとビデオの出力で、右側4つが入力です。

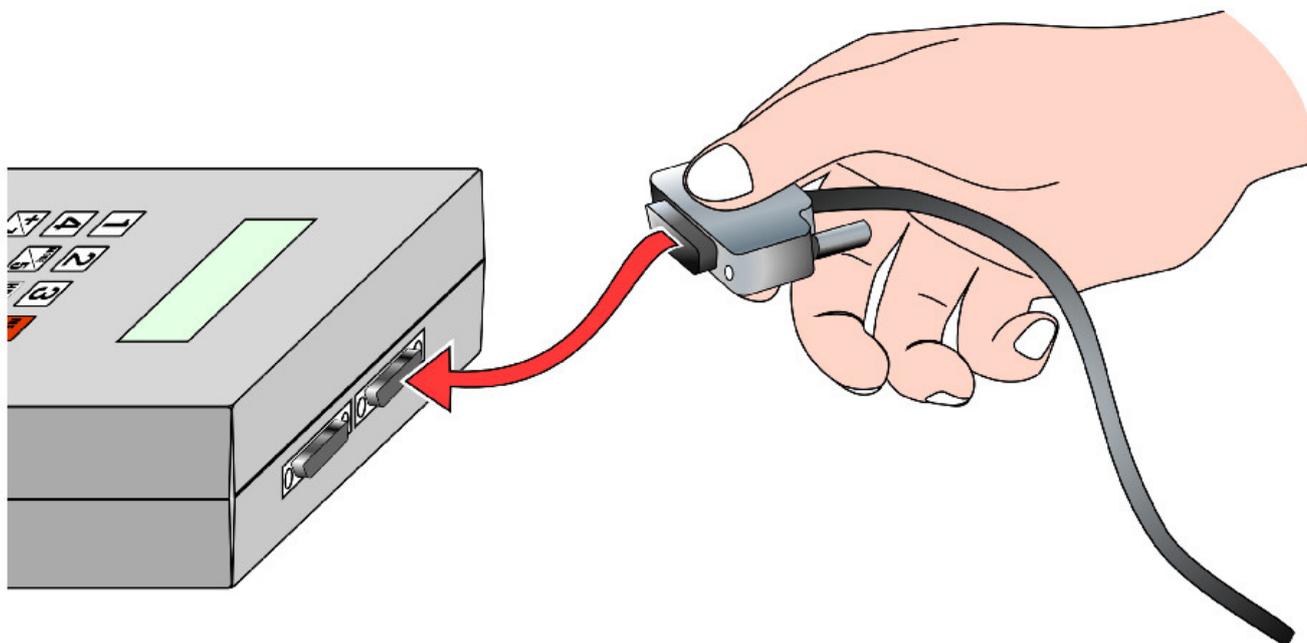


オーディオとビデオの出力はTV 電話中のみ可能です。(相手からの映像と音声が出力されます)

8 カメラ制御ケーブルの接続

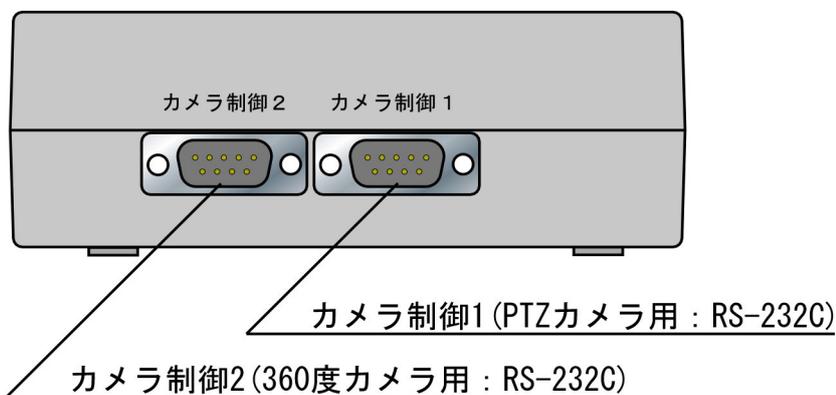
カメラ制御ポートは本装置上側面にあります。

D-SUB 9ピン メス型コネクタのケーブルが接続できます。



右側が PTZ カメラの制御ポート [カメラ制御 1] です。

左側が 360 度カメラ用の制御ポート [カメラ制御 2] です。

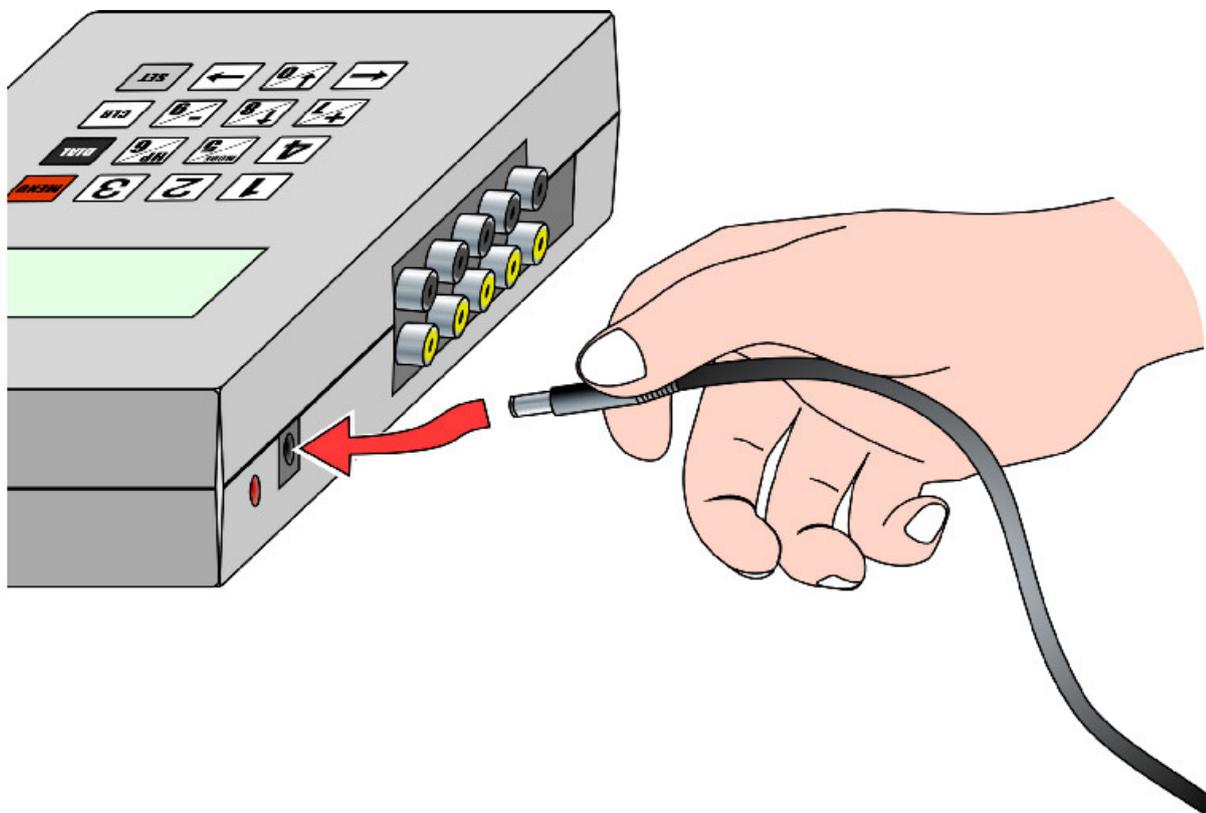


PTZ カメラは Canon 製の「VC-C50iR」を対象としています。

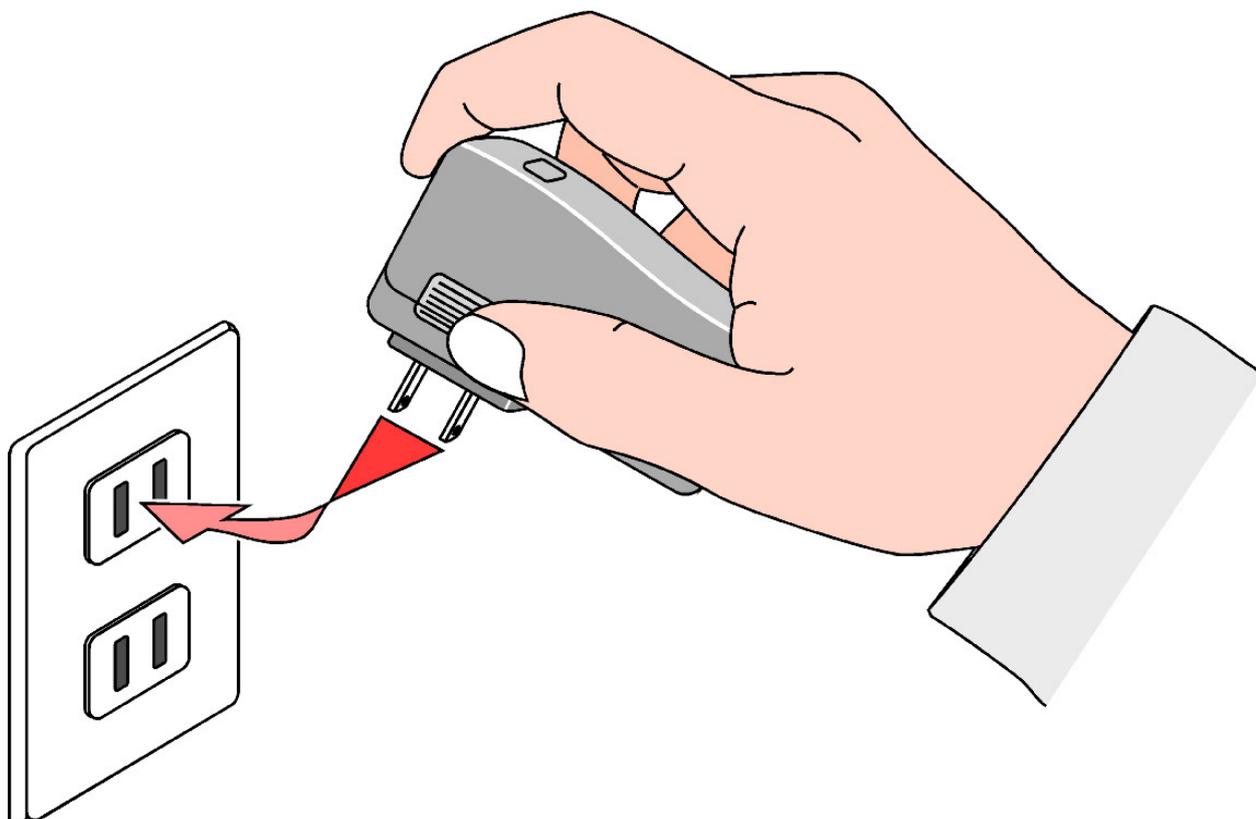
360 度カメラはレッツ製「LFE360」シリーズを対象としています。

9 ACアダプターの接続

DC 5V 入力部は本装置左側面にあります。
先に DC プラグを本装置に接続します。



次に、AC アダプターをコンセントに差込みます。

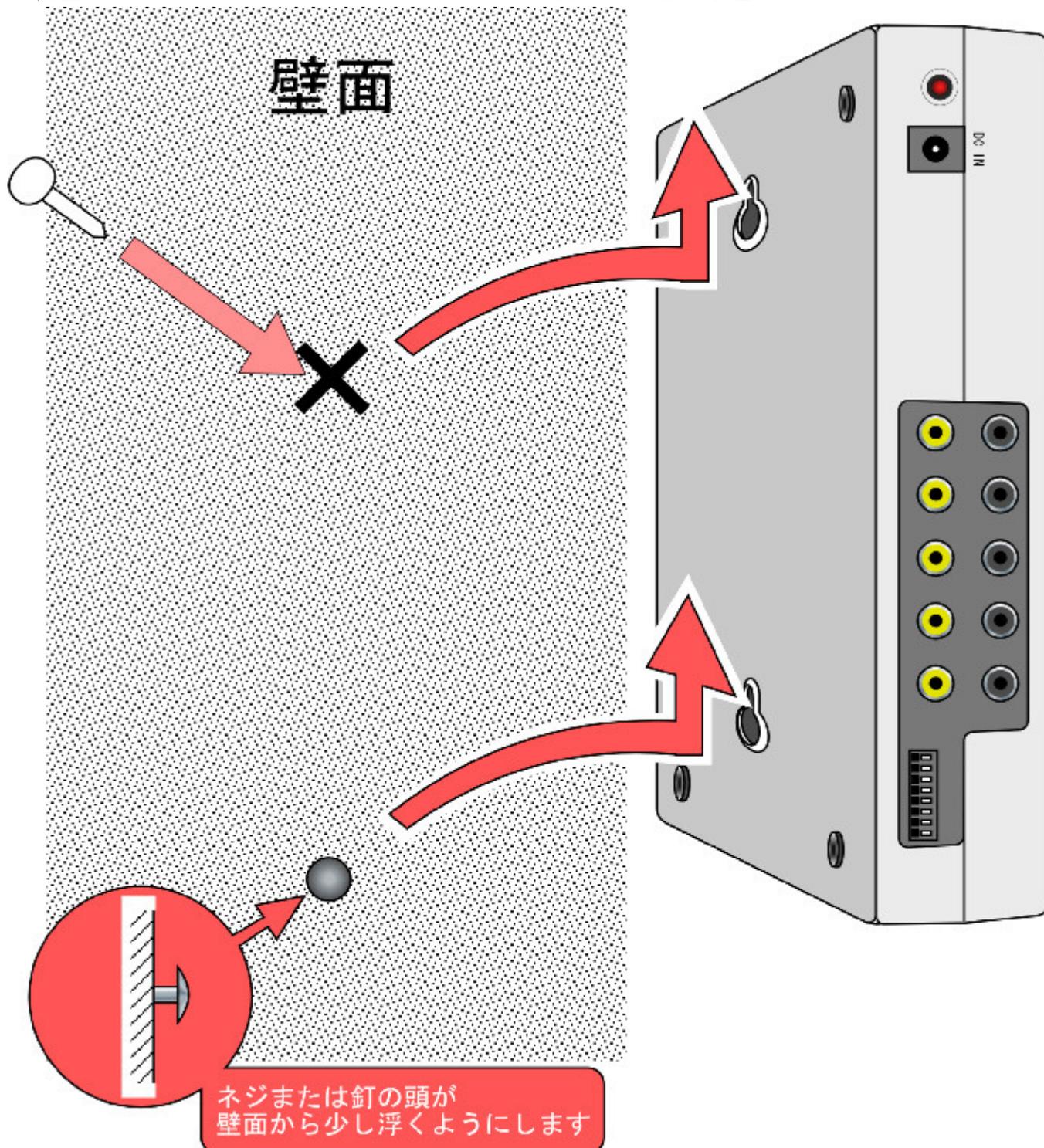


10 壁掛設置について

本装置を壁や柱に取り付ける場合のみ必要な作業です。

本装置底面には壁掛け用の穴が2箇所あります。

本装置の壁掛け穴の間隔どおり、壁面または柱に釘やネジを打ち込んでください。

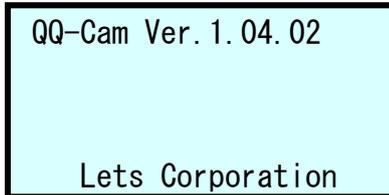


11 起動画面

電源を ON すると液晶画面に次のような文字が数秒間表示されます。

この画面を「起動画面」と呼称します。

「起動画面」表示中は、本装置は一切の操作を受け付けません。



※ここで表示される文字は機能改善のため、予告無く変更される場合があります。

12 状態画面

「起動画面」の表示が終了すると、次のような画面に移行します。

この画面を「状態画面」と呼称します。

実際の運用では、この「状態画面」が標準状態となります。

「状態画面」には次の5種類の状態があります。

ジ ョウタイ: ショキチュウ
カメラ: 1

10/01/20 09:00:00

システム初期化起動中、通信強制切断中の状態を示します。

ジ ョウタイ: タイキチュウ
カメラ: 1
レベル: ■ ■ ■
10/01/20 09:01:00

システム稼動中で TV 通話を行っていない状態を示します。
この状態のみ、FOMA 携帯電話網の電界強度が表示されます。
表示される ■ の数が多いほど電波状態は良好です。

ジ ョウタイ: チャクシンチュウ
カメラ: 1
080XXXXXXXX
10/01/20 09:02:24

システム稼動中で TV 着信がある状態を示します。
相手先の発信者番号が表示されます。

ジ ョウタイ: ツウワチュウ
カメラ: 1
080XXXXXXXX
10/01/20 09:05:31

システム稼動中で通話中の状態を示します。
相手先の電話番号が表示されます。

ジ ョウタイ: ハクシンチュウ
カメラ: 1
080XXXXXXXX
10/01/20 09:15:46

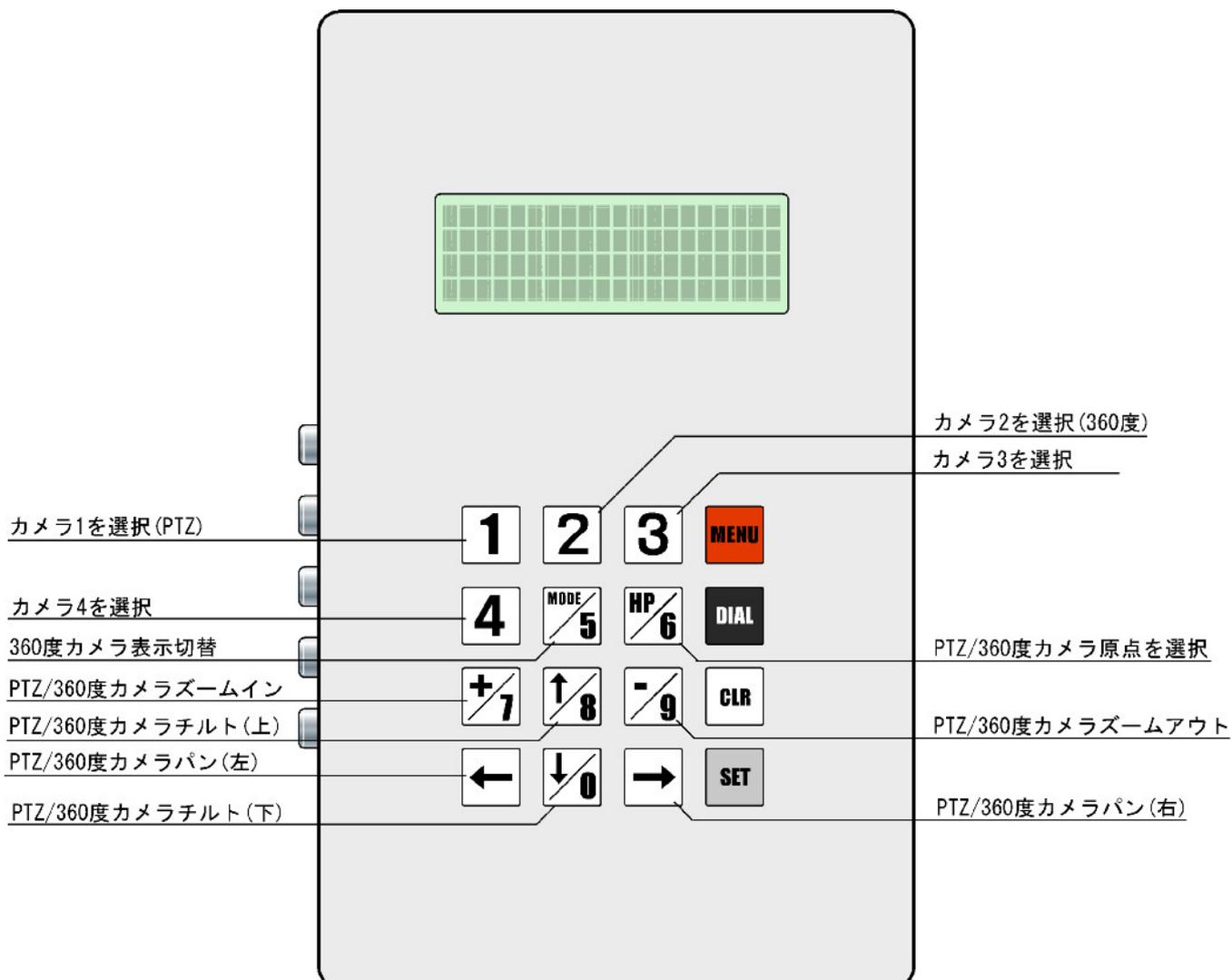
システム稼動中で相手先呼び出し中の状態を示します。
発信先の電話番号が表示されます。

状態画面で **SET** キーを押し続けると、本装置に内蔵された FOMA 通信カードの電話番号が表示されます。ただし、初期化中は FOMA 通信カードの情報が未取得のため、表示されません。

ジ ョウタイ: タイキチュウ
カメラ: 1
レベル: ■ ■ ■
Me: 090XXXXXXXX

SET キーを離すと、元の表示に戻ります。

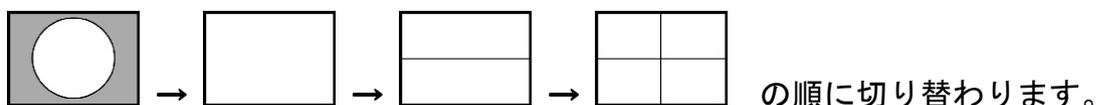
「状態画面」では、以下の操作が可能です。



カメラ入力の切り替え (**1** **2** **3** **4** キーに対応)

カメラ 1～4 の入力切替を行います。音声も連動して切り替わります。

360 度カメラ表示切替：画像表示形式の変更 (**MODE/5** キーに対応)



PTZ/360 度カメラの原点切り替え (**HP/6** キーに対応。6 つのポジションが順に替わります)

PTZ/360 度カメラのパン：画像を左右方向に移動 (**←** **→** キーに対応)

PTZ/360 度カメラのチルト：画像を上下方向に移動 (**↑/8** **↓/0** キーに対応)

PTZ/360 度カメラのズーム：画像の倍率を変更：(**+/7** **-/9** キーに対応)

13 状態 LED

本装置電源投入すると、各種制御処理が開始されます。すべての機能が稼動可能状態になるまでは、状態 LED は初期化中の状態を示します。初期化には1分程度かかります。

LED は0.5秒ごとに点滅します。



本装置のすべての機能が稼動可能な状態の場合、状態 LED は待機中の状態を示します。

LED は1秒点灯 - 1秒消灯の繰り返しとなります。



外部からの着信を検出、本装置からの発信動作中、あるいは携帯電話などとTV電話中になった場合、状態 LED は着信・通話中の状態を示します。

LED は点灯を続けます。



14 メニュー画面

「状態画面」において、 キーを押下すると、次の画面が表示されます。

この画面を「メニュー画面」と呼称します。

> ハッソキ セッテイ
ツウジカ セッテイ
カメラ ゲンテン セッテイ
カメラ ハンテン セッテイ

画面左側に表示されている>文字がカーソルです。(以下同様)

- ハッソキ セッテイ(発信先設定) : 発信先の設定
- ツウジカ セッテイ(通話時間設定) : 通話時間制限の設定
- カメラ ゲンテン セッテイ(カメラ原点設定) : PTZ/360度カメラの原点位置設定
- カメラ ハンテン セッテイ(カメラ反転設定) : 360度カメラの上下反転設定
- ツウホウパターン セッテイ(通報パターン設定) : 通報イベント発生時の通報パターンを設定
- チャクシ セキュリティ セッテイ(着信セキュリティ設定) : TV 電話着信があった場合の挙動を設定
- パスワード セッテイ(パスワード設定) : 本装置の着信時パスワードの設定
- ツウ セッテンレンドウ セッテイ(通話接点連動設定) : センサー出力 5, 6, 7, 8 を TV 通話と連動する設定
- FOMAカード タイプ セッテイ(FOMA カードタイプ設定) : FOMA 通信カードの種別設定
- ジコク セッテイ(時刻設定) : 本装置のシステム日付設定
- セッテイ ショキカ(設定初期化) : 各種設定の初期化
- ツウ キョウセイ チュウダン(通話強制中断) : FOMA 通信カードの強制リセットを行い、通話を切断します。
- I/O チェック(I/O チェック) : 本装置設置時の、センサー入力・出力確認
- AV モジュール セッテイ(AV モジュール設定) : **メーカーメンテナンス用**

※この項目を選択しないでください。

 または  キーでカーソルを移動し、 キーで目的の項目を選択します。

画面の上端、下端では、メニュー項目がスクロール表示されます。

 キーの押下、または、一定時間キー入力が無い場合、「状態画面」に戻ります。

14.1 発信先設定

発信先設定を選択した場合、次の画面が表示されます。

ここで設定する電話番号は、自動発信時の発信先、TV 電話着信時の電話番号認証として機能します。

```
ハツンサキ セツテイ
>01 *****
02 *****
03 *****
```

発信先は最大10件まで登録可能です。

未登録の部分は*****となっています。

初期値は全て未登録(*****)です

 または  キーでカーソルを移動し、 キーで目的の発信先を選択します。

画面の上端、下端では発信先がスクロール表示されます。

 キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

目的の発信先を選択すると、発信先の電話番号入力画面になります。

```
ハツンサキ セツテイ
ハンゴウヲ ニュウリョク
-----
```

すでに電話番号の登録がある場合は、登録されている電話番号の変更、削除が可能です。
発信先電話番号には、数字のみ登録可能です。(最大16桁)

電話番号の変更や入力ミスを取り消す場合は  キーを押下して1桁ずつ消去し、再入力してください。

すでに登録されている電話番号を削除する場合も  キーですべての桁を消去してください。

入力した番号を確定する場合は、 キーを押下してください。

電話番号を削除した場合の確定も同じく  キーの押下となります。

 キーの押下で発信先設定の最初の画面に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

発信先電話番号を新規登録または変更した後、**SET** キーを押下すると次の画面が表示されます。

ハツシサキ セツテイ
バンゴウ
090XXXXXXXX
トウロクシマシタ

MENU キーの押下で発信先設定の最初の画面に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

※発信先に登録できる番号は携帯電話の番号のみです。

発信先電話番号を全桁削除(消去)した後、**SET** キーを押下すると次の画面が表示されます。

ハツシサキ セツテイ
バンゴウ

サクジ ヨシマシタ

MENU キーの押下で発信先設定の最初の画面に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

14.2 通話時間設定

通話時間設定を選択した場合、次の画面が表示されます。

ツウワジ カン セッテイ
サイョウ 00ジ カン 00フン

初期値は、最長 00 時間 00 分(無制限)です
テンキーから最長通話時間を入力します。

CLR キーで 1 桁戻ります。

最長通話時間を確定する場合は **SET** キーを押下します。

00 時間 00 分の場合は、通話時間の監視は行いません。(連続通話が可能です)

00 時間 01 分以上の値を設定した場合、TV 通話開始後、通話時間が経過すると、自動的に通話を終了します。

MENU キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

最長通話時間を確定させると、次の画面が表示されます。

ツウワジ カン セッテイ
サイョウ 00ジ カン 10フン

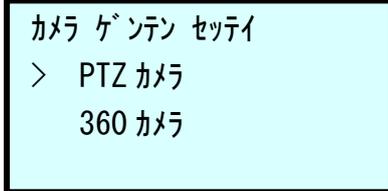
セッテイシマシタ

MENU キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

14.3 カメラ原点設定

カメラ原点設定を選択すると、次の画面が表示されます。



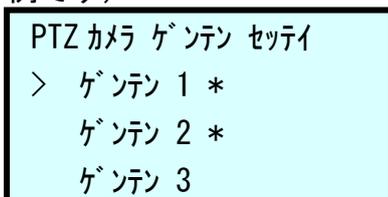
PTZ カメラ／360 度カメラのいずれかを選択します。

 または  キーでカーソルを移動し、 キーで目的のカメラを選択します。

 キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

対象のカメラを選択すると、次の画面が表示されます。(下画面は PTZ カメラを選択した場合の例です)



PTZ カメラ、360 度カメラとも、それぞれ 6 つのカメラ原点を設定可能です。

原点が設定されている場合、原点番号の右に * が表示されます。

初期値では、原点登録はされていません

 または  キーでカーソルを移動し、 キーで目的の原点番号を選択します。

画面の上端、下端では、原点番号がスクロール表示されます。

 キーの押下でカメラ原点設定画面に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

原点番号が選択されると、テンキーから PTZ カメラまたは 360 度カメラのコントロールができるようになります。

PTZ カメラ ゲンテン 1 セツテイ

CLR デ ゲンテン サクゾ

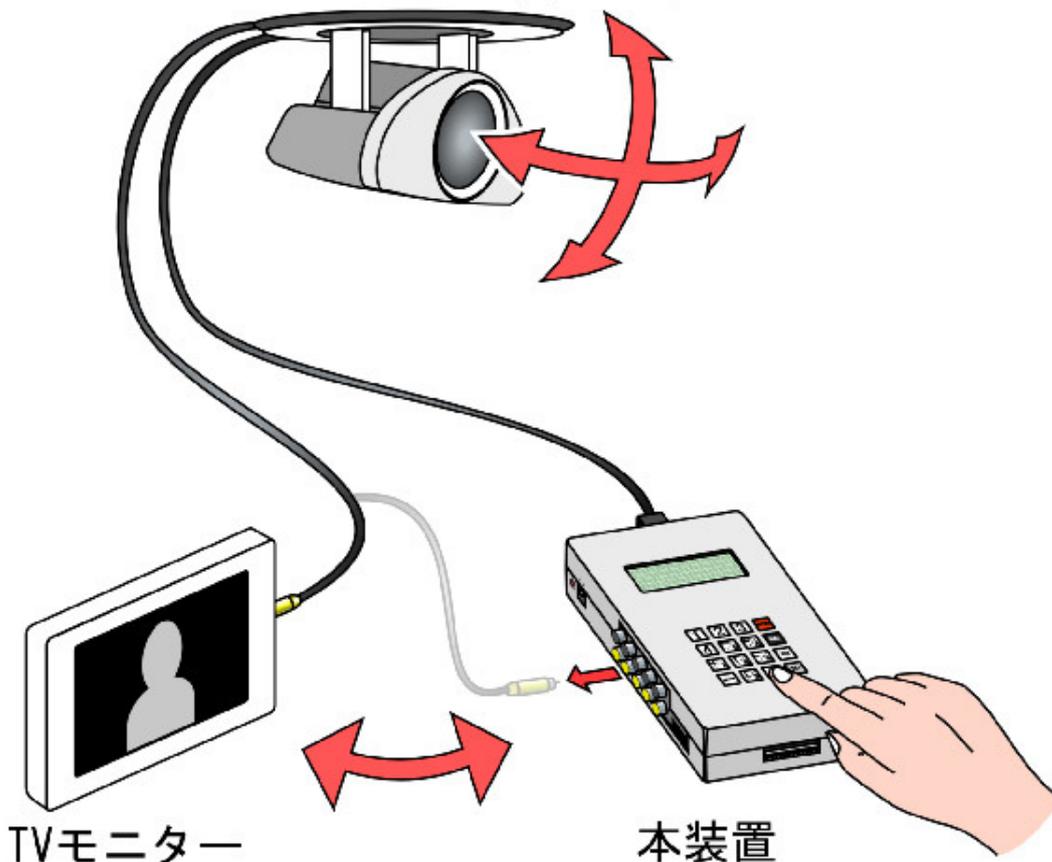
SET デ イマノ イヲ キク

    キーでカメラを旋回させます。

  キーでカメラのズーム操作を行います。

カメラの原点設定は、実際に携帯電話と TV 通話を行い、携帯電話画面を確認しながら実施することも可能ですが、下図のように一時的に TV モニターなどの表示装置にビデオケーブルを繋ぎ替えることで、簡単に設定することができます。

PTZカメラや360度カメラ



本装置から一時的に対象のビデオケーブルを抜いて TVモニターに繋ぎ替えます

※設定が終了したら、必ずビデオケーブルを本装置の所定の接続位置に戻してください。

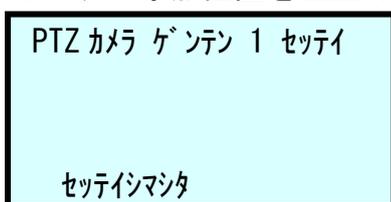
360 度カメラ選択時のみ  キーでカメラの表示モードを切り替えることができます。(この時のカメラモードもカメラ原点として保存可能です。)

原点位置を決定したい場合は  キーを押下します。

原点位置を削除(消去)したい場合は  キーを押下します。

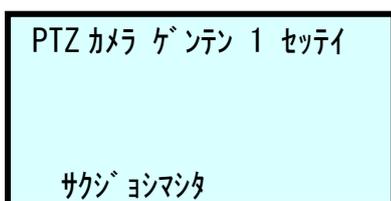
 キーの押下で PTZ カメラまたは 360 度カメラの選択画面に戻ります。
一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

カメラの原点位置を  キーで設定した場合、次の表示となります。



 キーの押下で PTZ カメラまたは 360 度カメラの選択画面に戻ります。
一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

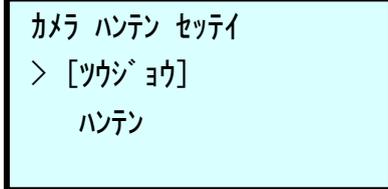
カメラの原点位置を  キーで削除(消去)した場合、次の表示となります。



 キーの押下でカメラ原点設定画面に戻ります。
一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

14.4 カメラ反転設定

カメラ反転設定を選択すると、次の画面が表示されます。



[]がついている項目が、現在の値です。

初期値は[通常]です

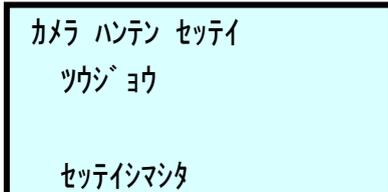
使用している 360 度カメラの設置位置にあわせて   キーでカーソルを移動させます。

 キーで 360 度カメラの転地反転状態が確定します。

 キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

360 度カメラの転地反転状態を確定すると、次の画面が表示されます。



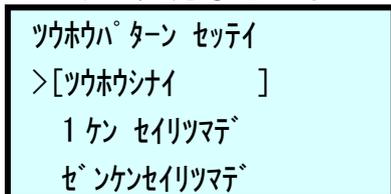
 キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

14.5 通報パターン設定

通報パターン設定を選択すると、次の画面が表示されます。

センサー入力などのイベントが発生した場合の通報パターンを設定します。



通報パターンは次の3種類です。

- ツウホウシナイ： 通報先の登録有無にかかわらず、通報を行わない
- 1ケン セイリツマデ： 通報先の登録がある場合、いずれか1件の通報先とTV電話発信が成立したら通報完了（通報リトライは各通報先に対し7回まで）
- ゼンケンセイリツマデ： 通報先の登録がある場合、すべての通報先とTV電話発信が成立するまで通報を行う（通報リトライは各通報先に対し7回まで）

[]がついている項目が現在の設定値です。

初期値は[通報しない]です



キーでカーソルを移動させます。

画面の上端、下端では、項目がスクロール表示されます。



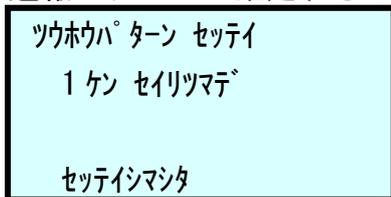
キーでカーソル選択されている値が確定します。



キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

通報パターンが確定すると、次の画面が表示されます。

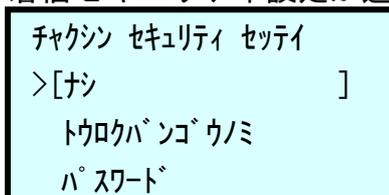


キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

14.6 着信セキュリティ設定

着信セキュリティ設定が選択されると、次の画面が表示されます。



セキュリティパターンは次の6種類です

- なし： すべてのTV電話着信が有効です。
- トウロクバンゴウミ： 発信先設定で登録された電話番号(最大10件)からのTV電話着信のみ着信許可します。
- パスワード： TV電話着信時にパスワード入力画面が表示され、設定されたパスワードを正しく入力しない限り、カメラ画像は相手先に表示されません。
- バンゴウ & パスワード： 発信先設定で登録された電話番号(最大10件)からのTV電話着信かつ、設定されたパスワードを正しく入力しない限り、カメラ画像は相手先に表示されません。
- バンゴウ or パスワード： 発信先設定で登録された電話番号(最大10件)からのTV電話着信または、それ以外の相手先からのTV電話着信で、設定されたパスワードを正しく入力された場合に限り、カメラ画像が相手先に表示されます。
- チャクシンキョヒ： 本装置を発信専用で運用する場合に設定します。外部からのTV電話着信はできません。

[]がついている項目が現在の設定値です。

初期値は[なし]です



キーでカーソルを移動させます。



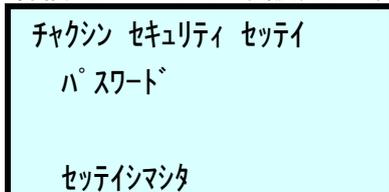
キーでカーソル選択されている値が確定します。



キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

着信セキュリティ設定が確定すると、次の画面が表示されます。

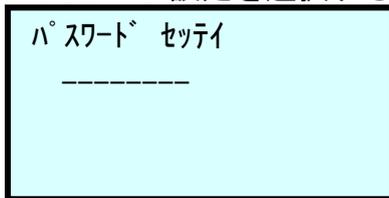


キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

14.7 パスワード設定

パスワード設定を選択すると、次の画面が表示されます。



パスワードは8桁以下の数字のみ設定できます。

初期値ではパスワード登録されていません

数字キーで値を入力してください。

CLR キーで、1桁前に戻ります。

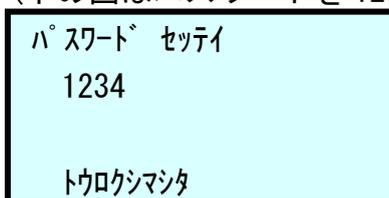
SET キーで値が確定します。

MENU キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

パスワードが確定されると次の画面が表示されます。

(下の図はパスワードを1234とした場合の例です。パスワードは0～8桁の間で設定可能です)

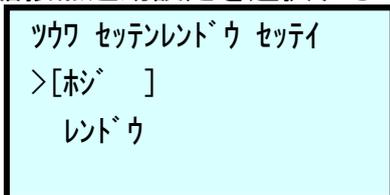


MENU キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

14.8 通話一接点連動設定

通話接点連動設定を選択すると、次の画面が表示されます。



TV 通話終了後のセンサー出力 5, 6, 7, 8 の振る舞いを設定します。

- ホジ (保持) : TV 通話中に携帯電話から行ったセンサー出力操作でオンになったセンサー状態を TV 通話終了後も維持する設定です。

「17.5 携帯電話のボタン対応機能 (センサー出力操作時)」(47 ページ) 参照。

- レンドウ (連動) : TV 通話中に携帯電話から行ったセンサー出力操作を通話終了時に全てオフにする設定です。

センサー出力 1, 2, 3, 4 はセンサー入力 1, 2, 3, 4 と連動しているため、本設定の影響を受けません。

[] がついている項目が現在の設定値です。

初期値は [保持] です

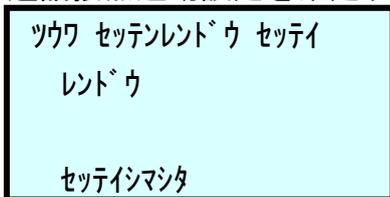
  キーでカーソルを移動させます。

 キーでカーソル選択されている値が確定します。

 キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

通話接点連動設定を確定すると、次の画面が表示されます。

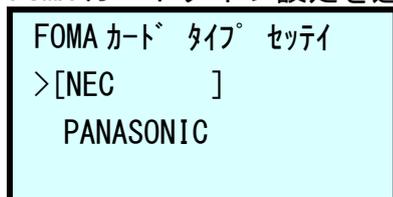


 キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

14.9 FOMA カードタイプ設定

FOMA カードタイプ設定を選択した場合、次の画面が表示されます。



[]がついている項目が、現在の値です。

初期値は[NEC]です

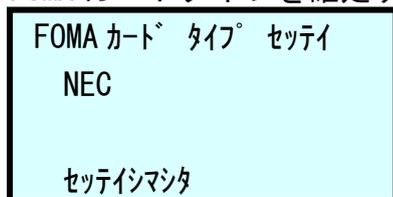
使用している FOMA 通信カードにあわせて   キーでカーソルを移動させます。

 キーで選択された FOMA 通信カードタイプが確定します。

 キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

FOMA カードタイプを確定すると、次の画面が表示されます。



FOMA 通信カードの種別を変更した場合、必ず本装置の電源オフオンを行ってください。

 キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

14.10 時刻設定

時刻設定を選択すると、次の画面が表示されます。

ジコク セッテイ 10/01/20 09:00:00

数字キーを操作して、現在年月日時分秒の設定を行います。

 キーで、1桁前に戻ります。

 キーで値が確定します。

 キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力が無い場合、「状態画面」に戻ります。

現在年月日時分秒が確定すると、次の画面が表示されます。

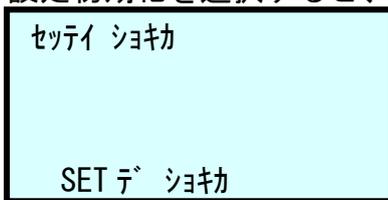
ジコク セッテイ 10/01/20 09:00:00 セッテイシマシタ

 キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力が無い場合、「状態画面」に戻ります。

14.11 設定初期化

設定初期化を選択すると、次の画面が表示されます。

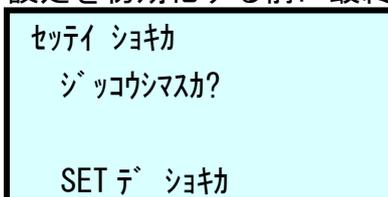


設定を初期化したい場合は **SET** キーを押下します。

MENU キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

設定を初期化する前に最終確認があります。

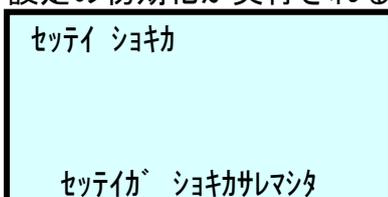


本当に設定を初期化したい場合は **SET** キーを押下します。

MENU キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

設定の初期化が実行されると、次の画面が表示されます。



本装置の全ての設定が初期値に戻ります。

設定を初期化した場合、必ず本装置の電源リセットを行ってください。

MENU キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

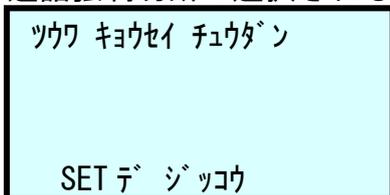
14.12 通話強制中断

※通話強制中断はFOMA 通信カードのリセットを行う機能です。

リセットを実行すると、しばらくの間、発信・着信とも行えません。(1分程度)

誤って発信してしまった場合、相手からの通話切断がなされない場合のみ本機能を使用します。

通話強制切断が選択されると、次の画面が表示されます。

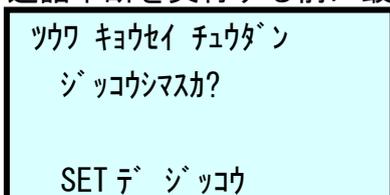


相手先呼び出し中、通話中の通話を中止・切断したい場合は **SET** キーを押下します。

MENU キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

通話中断を実行する前に最終確認があります。

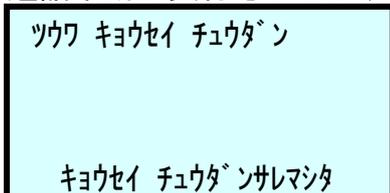


本当に通話を中断したい場合は **SET** キーを押下します。

MENU キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

通話中断が実行されると、次の画面が表示されます。



※約1分で次の通話が可能となります。

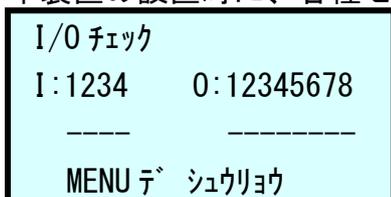
MENU キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

14.13 I/O チェック

I/O チェックを選択すると、次の画面が表示されます。

本装置の設置時に、各種センサー入力およびセンサー出力の動作確認を行う場面です。



I:1234

本装置のセンサー入力(4点)に入力を検知すると、 のように変化します。

本装置からのセンサー出力(8点)を確認する場合は、      

 キーを押下します。

一度押下すると出力 ON、もう一度押下すると出力 OFF となります。

O:12345678

表示は  のようになります。

 キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

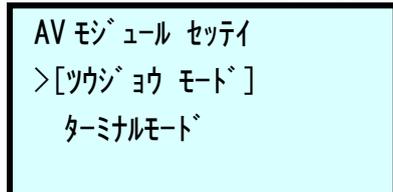
本メニューを抜ける場合は、センサー出力がすべて OFF になります。

※当該画面は設置時の補助画面です。通常運用中は操作しないでください。

14.14 AV モジュール設定

絶対に設定しないでください。ツジヨウモードであること

AV モジュール設定を選択すると、次の画面が表示されます。



誤って当該画面を選択してしまった場合、速やかに  キーを押下して「メニュー画面」に戻ってください。

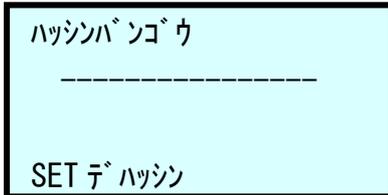
この画面を操作してしまった場合、必ず本装置の電源リセットを行ってください。

15 ダイアル画面

「状態画面」が表示中で状態がタイクチュウの場合のみ、**DIAL** キーの押下で手動 TV 電話発信が可能です。

DIAL キーを押下すると、次の画面が表示されます。

この画面を「ダイアル画面」と呼称します。



テンキーを操作して、相手先の電話番号を入力します。

SET キーを押下すると発信開始です。

CLR キーで入力中の電話番号を 1 桁削除できます。

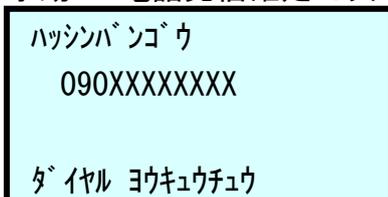
第一桁に  キーを入力すると液晶画面に * が表示され、短縮番号入力モードになります。続いて数字 2 桁で短縮番号の入力を行います。短縮番号は、発信先の設定で登録した電話番号の並び順になります。

MENU キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

一定時間キー入力がない場合、「状態画面」に戻ります。

当該画面表示中に TV 電話着信があった場合、または、イベント発信が行われた場合、「状態画面」に戻ります。

手動 TV 電話発信確定で次の画面が表示されます。



MENU キーの押下で「メニュー画面」に戻ります。

数秒後、「状態画面」に戻ります。

誤って発信してしまった場合、「14.12 通話強制中断」(38 ページ)の操作を行ってください。

16 運用方法

16.1 運用開始までの流れ

本装置を新たに設置する場合は、はじめに以下の手順を実施してください。

- (1) 本装置に FOMA 通信カードをセットします。
「3 FOMA 通信カードの取り付け」(9 ページ)をご参照ください。
- (2) 本装置に時計用電池を取り付けます。
「4 時計用電池の取り付け・交換」(12 ページ)をご参照ください。
- (3) 本装置を自動発信方式で運用する場合、本装置にセンサー入力信号を接続します。
「5 センサー入力信号の接続」(13 ページ)をご参照ください。
- (4) 必要ならば、本装置にセンサー出力信号を接続します。
「6 センサー出力信号の接続」(14 ページ)をご参照ください。
- (5) 本装置に各種オーディオ・ビデオケーブルを接続します。
「7 AV ケーブルの接続」(15 ページ)をご参照ください。
- (6) 必要ならば、本装置にカメラ制御ケーブルを接続します。
「8 カメラ制御ケーブルの接続」(16 ページ)をご参照ください。
- (7) 本装置を適切な位置に設置します。
- (8) 本装置に AC アダプターを接続して電源コンセントに差し込みます。
「9 AC アダプターの接続」(17 ページ)をご参照ください。
- (9) 本装置のメニュー画面から設定初期化を実施します。
「14.11 設定初期化」(37 ページ)をご参照ください。
- (10) 本装置のメニュー画面から時刻設定を行います。
「14.10 時刻設定」(36 ページ)をご参照ください。
- (11) 必要ならば、本装置のメニュー画面からカメラ原点設定を行います。
「14.3 カメラ原点設定」(27 ページ)をご参照ください。
- (12) 必要ならば、本装置のメニュー画面からカメラ反転設定を行います。
「14.4 カメラ反転設定」(30 ページ)をご参照ください。
- (13) 必要ならば、本装置のメニュー画面から通話時間設定を行います。
「14.2 通話時間設定」(26 ページ)をご参照ください。

16.2 発信のための準備

本装置から携帯電話に対して発信を行うために、次の設定を行います。

- (7) 本装置のメニュー画面から発信先設定を行います。
「14.1 発信先設定」(24 ページ)をご参照ください。
- (1) 本装置のメニュー画面から通報パターン設定を行います。
「14.5 通報パターン設定」(31 ページ)をご参照ください。
1 件成立まで または、全件成立までを選択します。

本装置からの発信方法は、次の 2 通りです。

●センサー入力による自動発信

本装置に接続されたセンサー入力 1～4 のいずれかの入力を検知すると、発信先設定で登録してある携帯電話番号に自動的に TV 電話発信を行います。その際、センサー入力番号に対応したビデオ・オーディオ入力を選択され、通報先携帯電話に表示されます。

通報パターンが「1 件成立まで」の場合は、登録先のいずれかの通報先と TV 通話が成立し、通話終了した時点で、発信動作の完了となります。

通報パターンが「全件成立まで」の場合は、本装置に登録してある全ての通報先携帯電話と TV 通話が成立し、通話終了するまで発信動作が繰り返されます。

通報先が電話に応答しない(できない)場合、同一通報先には最大 7 回まで再発信を行い、接続を待ちます。発信回数が 7 回に到達した通報先には、当該センサー入力での発信を取りやめます。

センサー入力が一度オフし、再度オンした場合は上記の動作が繰り返されます。

●本装置テンキーからのダイヤル入力による手動発信

「15 ダイヤル画面」(41 ページ)の操作で手動発信を行います。

TV 通話接続後の操作は、次項の「17 携帯電話からの操作方法」(44 ページ)をご参照ください。

16.3 着信のための準備

携帯電話から本装置を呼び出し、映像監視を行うために、次の設定を行います。

- (A) 本装置のメニュー画面から発信先設定を行います。
「14.1 発信先設定」(24 ページ)をご参照ください。
- (B) 本装置のメニュー画面から着信セキュリティ設定を行います。
「14.6 着信セキュリティ設定」(32 ページ)をご参照ください。
- (C) パスワードが必要な設定を行った場合は、本装置のメニュー画面からパスワード設定を行います。
「14.7 パスワード設定」(33 ページ)をご参照ください。

TV 通話接続後の操作は、次項の「17 携帯電話からの操作方法」(44 ページ)をご参照ください。

17 携帯電話からの操作方法

17.1 事前準備

NTT ドコモの FOMA 対応携帯電話で TV 電話可能な端末を用意します。

携帯電話の設定で TV 電話中の DTMF 音送出機能を有効にしておきます。

(携帯電話の機種によっては、TV 電話中にのみ DTMF 音送出を有効にできるものもあります)

17.2 基本操作

●本装置との通話は必ず TV 電話機能を用いて行います。

通常の音声通話はできません。音声は TV 電話の音声となります。

●通話中に使用するボタンは

1	2	3	4	5	6	7	8	9	*	0	#
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

となります。

誤操作・誤認識を防止するため、これらの **ボタンは必ず 2 度押下します。**

(例) 1 2 3 4 と入力したい場合

携帯電話のボタンから

1	1	2	2	3	3	4	4
---	---	---	---	---	---	---	---

 と入力します。

※この操作は本装置と TV 通話中のすべての操作に共通です。

17.3 携帯電話のボタン対応機能（パスワード入力時）

携帯電話から本装置を呼び出した場合、本装置側でパスワードによる着信セキュリティ設定がなされている場合、携帯電話にはパスワード入力を促す画面が表示されます。

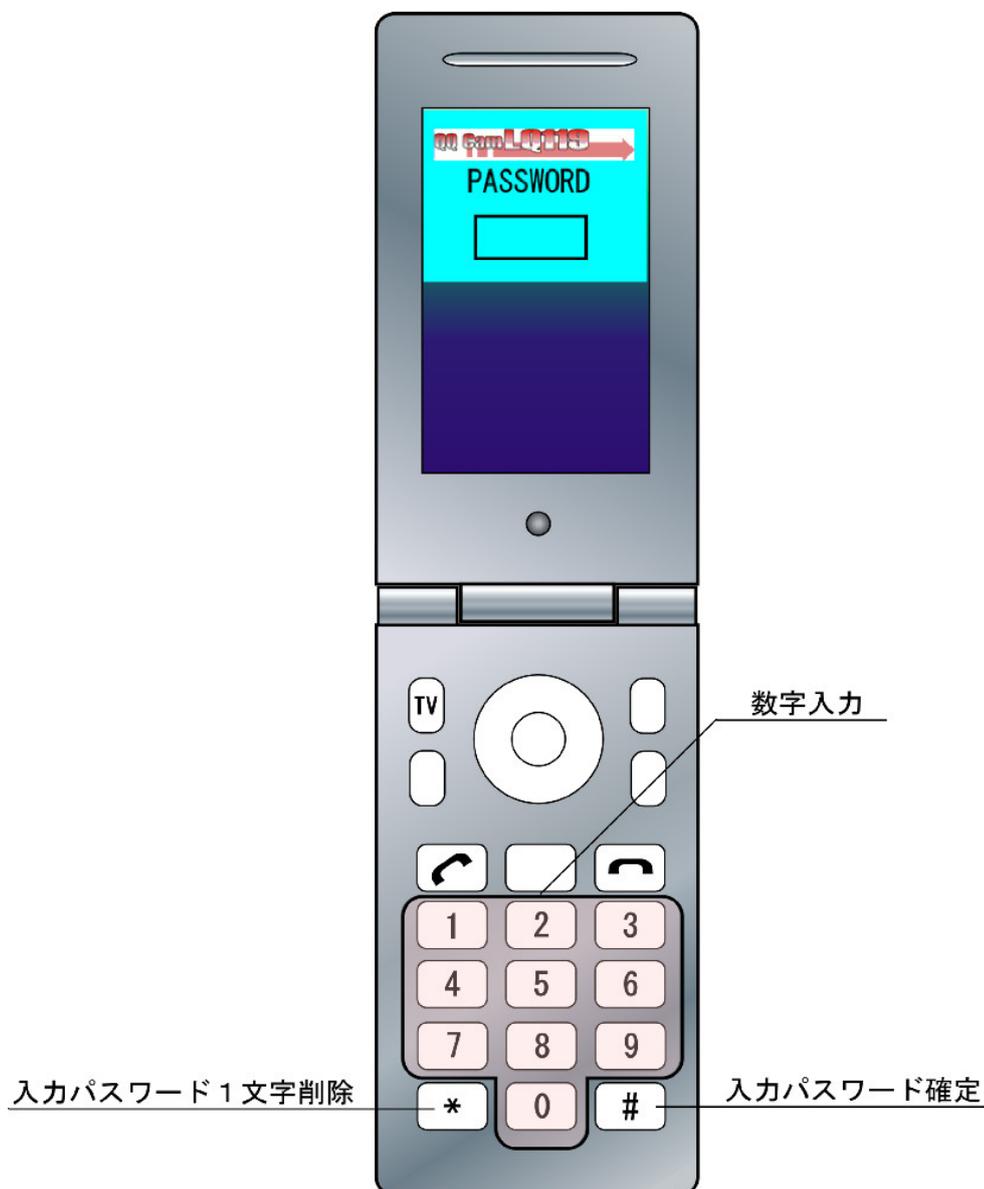
携帯電話の **1** **2** **3** **4** **5** **6** **7** **8** **9** **0** ボタンでパスワードを入力します。

パスワードの入力は、パスワード1桁につき携帯電話のボタンを2回押します。

パスワード入力時はパスワード1桁ごとに携帯電話画面の PASSWORD 欄に数字が表示されることを確認しながら、確実に行ってください。

入力ミスがあった場合、携帯電話の ***** ボタンを2回押下することで、パスワード1桁を取り消すことができます。

パスワードの入力が完了した後、携帯電話の **#** ボタンを2回押下すると、本装置側でパスワード認証が行われます。



17.4 携帯電話のボタン対応機能（カメラ操作時）

携帯電話と本装置がTV 通話状態になると、携帯電話から各種映像操作が可能となります。

映像・音声入力の切り替え、カメラのパン・チルト・ズーム操作は携帯電話側では下図のように割り当てられています。

各種操作は、携帯電話のボタンを2回押すことで実行されます。



17.5 携帯電話のボタン対応機能（センサー出力操作時）

携帯電話と本装置が TV 通話中にカメラ 1 を選択します。（カメラ 1 以外ではセンサー出力操作モードへの切り替えが行えません。）

携帯電話の **5** ボタンを 2 回押下することにより携帯電話画面の上部に黄色の帯が表示され、センサー出力状態を操作できるようになります。

※センサー出力操作中は PTZ カメラ、360 度カメラともに上下左右方向の画像操作はできません。



8 0 * # ボタンを操作してセンサー出力 5, 6, 7, 8 のオン/オフ操作が可能です。

再度カメラ 1 を選択し、**5** ボタンを 2 回押下すると、カメラ操作が可能な状態に戻ります。

17.6 携帯電話からの TV 電話発信による監視

- ①携帯電話から本装置の電話番号をダイヤルします。
- ②携帯電話の TV 電話発信に相当するボタンを押下して TV 電話発信を行います。
TV 電話発信ボタンは携帯電話の機種によって異なる場合があります。
通常の音声通話発信ボタン(オフフックボタン)では、本装置と携帯電話は接続されません。
- ③本装置が応答すると、携帯電話に画像が表示されます。
本装置側の着信セキュリティ設定でパスワードを要求する設定になっている場合、携帯電話にはパスワード入力画面が表示されます。
- ④パスワード入力画面で正しいパスワードを入力すると、カメラ画像に切り替わります。
誤ったパスワードの場合、3回まで入力リトライが可能です。リトライ回数を超えると、通話は切断されます。
- ⑥カメラ画像が表示されている場合は、携帯電話のボタンからカメラ操作が可能になります。
- ⑦センサー出力操作モードではセンサー5, 6, 7, 8 の任意のセンサー操作が携帯電話のボタンで可能になります。
- ⑧本装置側で通話時間制限が設定されている場合、設定された時間が経過すると、通話が切断されます。(通話時間制限はパスワード入力を含む通話時間です)
- ⑨携帯電話のオンフックボタンを押下すると通話終了です。

17.7 携帯電話への TV 電話着信による監視

- ①本装置から携帯電話に TV 電話着信があります。
- ②携帯電話の TV 電話着信に相当するボタンを押下して TV 電話応答します。
TV 電話着信ボタンは携帯電話の機種によって異なる場合があります。
通常の音声通話応答ボタン(オフフックボタン)では本装置と携帯電話は接続されない場合があります。
- ③携帯電話に画像が表示されます。
- ④携帯電話のボタンからカメラ操作が可能になります。
- ⑤センサー出力操作モードではセンサー5, 6, 7, 8 の任意のセンサー操作が携帯電話のボタンで可能になります。
- ⑥本装置側で通話時間制限が設定されている場合、設定された時間が経過すると、通話が切断されます。
- ⑦携帯電話のオンフックボタンを押下すると通話終了です。

18 故障と考えられる時

各項目をご確認ください。

症 状	確 認 及 び 対 処
状態 LED が点灯しない 液晶画面に何も表示され ない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源ケーブルが抜けていませんか？ →電源を確認してください。
状態 LED が点灯したま まになっている	<ul style="list-style-type: none"> ・TV 電話による通話中です。 →強制的に切断する場合は「通話強制切断」操作を行ってください。
状態 LED が速い点滅の まま変わらない	<ul style="list-style-type: none"> ・FOMA 通信カードは正しくセットされていますか？ →本装置に FOMA 通信カードがセットされていない場合、状態 LED は速い短滅のままとなります。 液晶画面の表示も「シキチユ」となっています。 FOMA 通信カードを正しくセットしてください。 ・FOMA 通信カードの設定は正しく行われていますか？ →本装置の設定画面「FOMA カードタイプ設定」で選択されている項目と、実際にセットされている FOMA 通信カードのメーカーが適合しているか確認してください。
1 分くらいの間隔で装 置からカチカチという 音が聞こえる	<ul style="list-style-type: none"> ・FOMA 通信カードは正しくセットされていますか？ →本装置に FOMA 通信カードがセットされていない場合、本装置は FOMA 通信カードの異常を回復させるため、定期的に FOMA 通信カードのリセット行います。 FOMA 通信カードを正しくセットしてください。 ・FOMA 通信カードの設定は正しく行われていますか？ →本装置の設定画面「FOMA カードタイプ設定」で選択されている項目と、実際にセットされている FOMA 通信カードのメーカーが適合しているか確認してください。
発信・着信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・本装置にセットした FOMA 通信カードの電波状態を確認してください。 →本装置は FOMA 通信カードを利用して TV 電話通信を行う関係上、携帯電話の電波環境に影響を受けます。可能な限り良好な電波環境でご使用ください。
着信時のパスワードを 忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ・本装置のパスワード設定を再度行ってください。
センサー入力による自 動発信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・本装置のセンサー入力端子に正しく信号線が接続されていますか？ →配線の確認を行ってください。 ・本装置に発信先が正しく登録されていますか？ →発信先の設定を確認してください。 ・本装置の通報パターン設定が「通報しない」になっていませんか？

	→通報パターン設定を確認してください。
携帯電話との TV 電話接続はできるが、携帯電話からカメラ操作などが効かない	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご使用の携帯電話は FOMA 携帯電話ですか？ →本装置は、FOMA 携帯電話のみと TV 電話接続が可能です。 ・ 携帯電話側で DTMF 音を送出する設定になっていますか？ →携帯電話の設定で DTMF 音の送出を有効にしてください。 ・ 携帯電話をご使用の環境は周りの騒音がひどくありませんか？ →カメラ制御、画像切り替えは携帯電話からの DTMF 音で行います。周囲が著しく騒がしい環境では、正しく動作しない可能性があります。携帯電話にイヤホン&マイクケーブルを接続するなどして、周囲の音が入らないようにしてください。
携帯電話での TV 通話中に回線が切断される	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手先の携帯電話の電波状態は良好ですか？ ・ 本装置設置場所の電波状態は良好ですか？
本装置のビデオ・オーディオ出力から何も出力されない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本装置のビデオ・オーディオ出力は TV 通話動作中のみ出力されます。
PTZ カメラ、360 度カメラの画像制御ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各カメラ制御ケーブルは正しく本装置に接続されていますか？ →ケーブルの接続をカメラ側、本装置側双方で確認してください。 ・ センサー出力操作モードになっている場合は、カメラの上下左右移動操作ができません。 →センサー出力操作モードを解除してください。
携帯電話の画面に青と黒の格子模様が映る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選択されたビデオ入力端子にビデオケーブルが正しく接続されていますか？ →ビデオ入力端子を確認してください。 →カメラの電源状態を確認してください。
液晶に表示されている時刻がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本装置の時計用電池を交換して、再度時刻設定をおこなってください。 ・ 本装置購入直後、電池交換直後は正しく時刻表示がされません。必ず時刻設定操作を行ってください。

上記の処置で、異状が改善されない場合は、装置の故障が考えられます。

購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

修理の過程で、各種設定情報を消去する場合がございますのでご了承ください。

19 仕様一覧

収容可能 FOMA 通信カード	1 枚
FOMA 通信カード接続方式	コンパクトフラッシュ型
映像入力端子	RCA コネクタ × 4
映像入力信号	NTSC
音声入力端子	RCA コネクタ × 4
音声入力信号	アナログ(ライン出力相当)
映像出力端子	RCA コネクタ × 1
映像出力信号	NTSC
音声出力端子	RCA コネクタ × 1
音声出力信号	アナログ(ライン入力相当)
接点入力端子	4 点
接点出力端子	8 点
カメラ制御ポート	2 ポート (RS-232C)
電源	AC アダプター 入力 AC100V~240V 50Hz/60Hz 出力 DC5V 2A
消費電力	最大 10W
動作温度	0°C~50°C
湿度	30%~90%RH (結露なきこと)
本体寸法	50mm × 130mm × 210mm (厚 × 幅 × 高) 突起物含まず
本体重量	約 600g

お問合せ先

本製品についてのお問い合わせは、
販売店もしくは弊社までお願いいたします。

LET'S corporation

株式会社 **レッツ** コーポレーション

本社：〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内 2-6-10

レッツ丸の内ビル

TEL (052) 201-6230

FAX (052) 201-5050

東京営業所：〒104-0061

東京都中央区銀座8丁目19-3

銀座竹葉亭ビル

TEL (03) 3546-0889

FAX (03) 3546-0941

インターネットウェブサイト <http://www.lets-co.co.jp/>